

第4学年

シラバス

2014

Syllabus

日本歯科大学新潟生命歯学部

## 基本理念

本学は、高等教育機関として、広く知識を授けると共に、深く歯・顎・口腔の医学を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させることを目的とし、もって人類の文化の発展と福祉に寄与し、国民の健康な生活に貢献することを使命とする（学則第1条）。

## 教育の目標

- 1) 幅広い教養と倫理観を持った医療人を育成する。
- 2) 問題を発見し解決する能力を持った医療人を育成する。
- 3) コミュニケーション能力のすぐれた医療人を育成する。
- 4) 歯科医学の最新の知識を生涯学び続ける能力を持った医療人を育成する。
- 5) 根拠に立脚した医療を実践できる医療人を育成する。
- 6) 専門に偏らない幅広い知識と技能を有する医療人を育成する。
- 7) 僻地医療や高齢者の介護福祉など地域医療に貢献できる医療人を育成する。
- 8) 口腔疾患を全身的関連で把握することのできる医療人を育成する。
- 9) 健康増進と疾病の予防に貢献できる医療人を育成する。
- 10) 世界をリードする国際性を有する医療人を育成する。

# シラバス

## 1. シラバスとは

履修する上での必要な要件を詳細に示した授業計画をいう。

## 2. シラバスの役割

- 1) 授業科目についての詳細な内容と計画が示されている。
- 2) 学生の教室外における予習復習の指針となる。
- 3) 試験に際しては、試験範囲等勉強の指針となる。
- 4) 学生に履修科目選択のための情報を提供する。

## 3. シラバスの構成

### 1) 一般目標

学習により期待される成果を示す。

### 2) 行動目標

学習者の到達すべき行動目標を示す。

### 3) 学習方略

目標に到達するために必要な学習方法を示す。

### 4) 評価方法

目標まで達成されたかどうかを判定するための評価方法を示す。

### 5) 学習内容

授業によって学生が何を学習できるかを示す。

## 授業科目一覧表

No.	科 目	前 期	後 期
1	医 療 倫 理		※ ※ ※
2	医 療 法 律 学		※ ※ ※
3	歯科医療コミュニケーション実習		※ ※ ※
4	歯 科 法 医 学	※ ※ ※	
5	医療情報・医療管理学		※ ※ ※
6	歯 科 薬 剂 学	※ ※ ※	
7	歯科麻酔と救急処置	※ ※ ※	※ ※ ※
8	口腔顎顔面外科手術学		※ ※ ※
9	口腔外科学・全身管理学実習		※ ※ ※
10	保存修復学実習	※ ※ ※	
11	歯内療法学実習		※ ※ ※
12	歯周疾患治療学実習	※ ※ ※	
13	小 児 歯 科 学	※ ※ ※	
14	小 児 歯 科 学 実 習	※ ※ ※	
15	部分床義歯補綴学	※ ※ ※	
16	部分床義歯補綴学実習		※ ※ ※
17	全部床義歯補綴学実習	※ ※ ※	
18	歯冠補綴架工義歯学	※ ※ ※	
19	歯冠補綴架工義歯学実習	※ ※ ※	※ ※ ※
20	口腔顎顔面外科学	※ ※ ※	
21	口腔顎顔面外科診断治療学		※ ※ ※
22	高 齢 者 歯 科 学	※ ※ ※	
23	障 害 者 歯 科 学		※ ※ ※
24	歯 科 心 身 医 学	※ ※ ※	
25	臨 床 診 査 ・ 検 査 学	※ ※ ※	
26	歯 性 感 染 症		※ ※ ※
27	顎咬合診断・口腔インプラント学		※ ※ ※
28	口腔インプラント実習		※ ※ ※
29	歯科医のための内科学	※ ※ ※	※ ※ ※
30	外 科 学		※ ※ ※
31	耳 鼻 咽 喉 科 学		※ ※ ※
科 目 総 数		16	18

## 新潟生命歯学部 授業科目等

授 業 料 目	単位数	計
医学概論・歯科医学史	1.5	1.5
早期臨床実習Ⅰ・Ⅱ	1.0	1.0
臨床から振り返る基礎学	1.5	1.5
ま と め	1.5	1.5
プロフェッション	1.0	1.0
自由 科 目	社 会 学	3
	経 済 学	
	ドイツの生活と情報	
青 年 心 理 学	1.5	3
臨 床 心 理 学	1.5	
原子核と放射線	1.5	4.5
物質の構造と反応	1.5	
生命の連続性と遺伝子	1.5	
熱と物質の物理	3	3
熱と物質の物理(補習と演習)	0	
基 礎 科 学	0	
生体物質の化学	3	3
生体物質の化学(補習と演習)	0	
基 礎 科 学	0	
細胞の生物学	3	3
細胞の生物学(補習と演習)	0	
基 礎 科 学	0	
自然現象の数学	3	3
生活と環境	1.5	1.5
自然科学実習	2	2
国語表現法	3	3
総合英語	1.5	3.75
実用医学英語	0.75	
英語会話	1.5	
基礎独語	1.5	1.5
情報科学の実習	1	1

授 業 料 目	単位数	計
医 療 倫 理	0.75	0.75
医 療 法 律 学	1.5	1.5
社 会 歯 科 入 門	0.75	0.75
歯科医療コミュニケーション実習	0.8	0.8
ファンダメンタルスキル実習Ⅰ・Ⅱ	0.75	0.75
健 康 科 学	1.5	1.5
歯 科 法 医 学	0.75	0.75
医療情報・医療管理学	0.75	0.75
基礎口腔保健学	1.5	3.5
地域口腔保健学	1.5	
口腔保健学実習	0.5	
生 化 学	1.5	3.5
口 腔 生 化 学	1.5	
分子生命科学実習	0.5	
基礎歯科医学補講Ⅰ	0	9.75
解 剖 学	3	
解 剖 学 実 習	2	
口 腔 解 剖 学	1.5	
口 腔 解 剖 学 実 習	1	
発 生 学	0.75	
人 類 学	1.5	
基礎歯科医学補講Ⅱ	0	
組 織 学	1.5	
口 腔 組 織 学	1.5	4
組織・口腔組織学実習	1	
基礎歯科医学補講Ⅰ	0	
生 理 学	3	4
生 理 学 実 習	1	
基礎歯科医学補講Ⅱ	0	
感 染 微 生 物 学	3	5.5
生 体 防 御 学	1.5	
感染微生物学・生体防御学実習	1	
基礎歯科医学補講Ⅰ	0	4
病 理 学	1.5	
口 腔 病 理 学	1.5	
病理診断学実習	1	
薬 物 療 法 学	1.5	4
歯 科 薬 物 療 法 学	1.5	
歯 科 薬 物 療 法 学 実 習	1	
基礎歯科医学補講Ⅰ	0	
歯 科 薬 剤 学	1.5	1.5
歯 科 理 工 学	4.5	5.5
歯 科 理 工 学 実 習	1	

授 業 料 目	単位数	計
ヒトと放射線	1.5	3
画像検査の基礎と応用	1.5	
歯科麻酔と救急処置	3	3
口腔顎顔面外科手術学	1.5	3.1
口腔外科学・全身管理学実習	1.6	
保存修復学	3	4.6
保存修復学実習	1.6	
歯冠鑄造修復学	1.5	1.5
歯内療法学	3	4.6
歯内療法学実習	1.6	
歯周疾患治療学	3	4
歯周疾患治療学実習	1	
顎口腔機能診断学	3	4
顎口腔機能診断学実習	1	
歯科矯正学	3	4
歯科矯正学実習	1	
小児歯科学	3	4
小児歯科学実習	1	
部分床義歯補綴学	3	4.6
部分床義歯補綴学実習	1.6	
全部床義歯補綴学	1.5	3.1
全部床義歯補綴学実習	1.6	
歯冠補綴架工義歯学	1.5	4.7
歯冠補綴架工義歯学実習	3.2	
口腔顎顔面外科学	4.5	6
口腔顎顔面外科診断治療学	1.5	
高齢者歯科学	1.5	1.5
障害者歯科学	0.75	0.75
歯科心身医学	0.75	0.75

授 業 料 目	単位数	計
専門歯科治療概論	1.5	1.5
医療統計学	0.75	0.75
生体機能調節学	1.5	1.5
ヒトの一生	1.5	1.5
材料科学	1.5	1.5
顎口腔運動制御学	0.75	0.75
唾液と唾液腺	0.75	0.75
臨床診査・検査学	1.5	1.5
口腔腫瘍学	1.5	1.5
歯性感染症	0.75	0.75
顎咬合診断・口腔インプラント学	1.5	2.3
口腔インプラント実習	0.8	
歯科医学入門演習	2	4
歯科症候学演習	2	
歯科医のための内科学	3	3
外科学	1.5	1.5
耳鼻咽喉科学	1.5	1.5
食育・食術	0.75	0.75
臨床(病院)実習	10	10
総合試験・CBT	3	3
総合科目①②③	6	6
包括歯科医学	4	4
合 計		199.8

## 第4学年 授業科目 目次

### －前期－

歯科法医学	10
歯科薬剤学	12
歯科麻酔と救急処置	14
保存修復学実習	16
歯周疾患治療学実習	18
小児歯科学	20
小児歯科学実習	22
部分床義歯補綴学	24
全部床義歯補綴学実習	26
歯冠補綴架工義歯学	28
歯冠補綴架工義歯学実習	30
口腔顎顔面外科学	32
高齢者歯科学	34
歯科心身医学	36
臨床診査・検査学	38
歯科医のための内科学	40

### －後期－

医療倫理	44
医療法学	46
歯科医療コミュニケーション実習	48
医療情報・医療管理学	50
歯科麻酔と救急処置	52
口腔顎顔面外科手術学	54
口腔外科学・全身管理学実習	56
歯内療法学実習	58
部分床義歯補綴学実習	60
歯冠補綴架工義歯学実習	62
口腔顎顔面外科診断治療学	64
障害者歯科学	66
歯性感染症	68
顎咬合診断・口腔インプラント学	70
口腔インプラント学実習	72
歯科医のための内科学	74
外科	76
耳鼻咽喉科学	78

## 第4学年 前期授業科目 目次

歯科法医学	10
歯科薬剤学	12
歯科麻酔と救急処置	14
保存修復学実習	16
歯周疾患治療学実習	18
小児歯科学	20
小児歯科学実習	22
部分床義歯補綴学	24
全部床義歯補綴学実習	26
歯冠補綴架工義歯学	28
歯冠補綴架工義歯学実習	30
口腔顎顔面外科学	32
高齢者歯科学	34
歯科心身医学	36
臨床診査・検査学	38
歯科医のための内科学	40

# 歯科法医学

授業責任者：都築民幸

教科書：エッセンシャル法医学・高取健彦監修・医師薬出版

参考書：臨床法医学テキスト・佐藤喜宣編著・中外医学社

子ども虐待の臨床，医学的診断と対応・坂井聖二他編著・南山堂  
身元確認，歯や骨からのアプローチ・大國 勉著・フリープレス

## 一般目標：

社会に貢献する歯科医師になるために，医療に関わる社会的問題を認識し，基礎医学，臨床医学知識を整理し，法に関する医学的事項について理解する。

## 行動目標：

1. 死の定義と判定について説明する。(A-2-③)
2. 検視・検案と法医解剖について説明する。
3. 死亡診断書について説明する。(A-3-⑤)
4. 窒息の臨床症状を説明する。
5. 死体現象と死後経過時間を対比する。
6. 医療契約，医療過誤，医事紛争と医療裁判について説明する。(A-5-2-①，③，④)
7. 鋭器および鈍器による創傷と成傷機序について説明する。
8. 咬傷・咬痕と記録について説明する。
9. 虐待の定義を述べる。(E-4-2-⑫)
10. 身体的虐待，ネグレクトの医科・歯科所見を説明する。(E-4-2-⑫)
11. 虐待の早期発見・対応における歯科医師の役割について述べる。(E-4-2-⑫)
12. 個人識別における歯科情報の有用性について説明する。
13. 災害時の歯科医師の役割について説明する。(B-2-2-⑪)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，論述試験，出席状況

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	4月15日	人の死、死亡の証明	死の定義と判定、内因死・外因死、検視・検案、法医学解剖、死亡診断書	都築 民幸
2	4月22日	歯科医療と死、死体現象	窒息の臨床症状、死体現象、死後経過時間の推定	
3	5月13日	医療事故と医療裁判	医療契約、医療過誤、医事紛争、医療裁判	
4	5月20日	創傷	鋭器損傷と鈍器損傷、咬傷・咬痕、成傷機序の推定、損傷と記録	
5	5月27日	虐待と歯科医師	虐待の定義・分類、虐待の医科・歯科所見、虐待の早期発見と対応	
6	6月3日	個人識別、歯科的個人識別	個人識別、性別判定、年齢推定、歯科的個人識別	
7	6月10日	災害と歯科医師	災害医療とトリアージ、災害時の歯科医療救護・歯科的個人識別	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 歯科薬剤学

授業責任者：桑島治博

教科書：現代歯科薬理学第4版・加藤有三ほか・医歯薬出版

参考書：歯科医師のための医薬品処方マニュアル・五十嵐治義ほか・医歯薬出版  
歯科におけるくすりの使い方2011-2014・金子明寛ほか・デンタルダイヤモンド社

## 一般目標：

歯科臨床において医薬品を有効かつ安全に使用するために、歯科医師として処方に必要な医薬品に関する薬学的、薬剤学的知識を身につける。

## 行動目標：

1. 医薬品に係わる法律，医薬品の臨床試験を説明する。(C-5-1) -①)
2. 医薬品の表示・保管・取り扱いを説明する。(C-5-1) -②)
3. 医薬品の剤形と投与経路を説明する。(C-5-3) -①)
4. 添付文書の法的背景および記載事項を説明する。
5. 処方せんの記載事項を説明する。(E-1-1) -⑱)
6. 歯科治療時に留意すべき服用薬物を列挙する。(E-1-3) -⑴-⑦)
7. 歯性感染症に適応のある抗菌薬の種類と使い分けを説明する。(C-3-1) -③)
8. 歯科に適応のある消炎鎮痛薬の種類と使い分けを説明する。(E-2-4) -⑶-⑥)
9. 薬物の主な副作用および口腔・顔面領域に現れる副作用を説明する。(C-5-4) -⑴, E-2-4) -⑴-⑦)
10. 歯科用医薬品の特徴と使用上の注意について説明する。(B-3-2) -⑵)
11. 薬物の適用方法の種類とその特徴を説明する。(C-5-3) -⑴)
12. 薬物の体内動態（吸収，分布，代謝，排泄）と薬物相互作用を説明する。(C-5-3) -⑵, C-2-3) -⑴-⑵)
13. 小児，妊婦および高齢者への薬物適用上の注意を説明する。(E-1-3) -⑴-⑸)
14. 全身疾患を有する患者への薬物適用上の注意を説明する。(E-1-3) -⑴-⑹)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，出席状況

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月16日	医薬品総論	薬事法と日本薬局方の記載内容について学習するとともに、医薬品の開発（治験）、分類、名称などの基本的事項について学習する。	竹野 敏彦
2	4月23日	医薬品の表示、保管、取り扱い	医薬品の保存容器、保存温度および毒薬・劇薬・麻薬の表示、保管、取り扱い方法などについて学習する。	
3	5月7日	医薬品の剤形	医薬品の剤形の特性について学習し、病態に応じた剤形の選択を学習する。	
4	5月14日	添付文書の確認	添付文書に関する内容を確認し、処方せん記載時に添付文書をどのように活用するのか学び、処方せん記載の注意事項を学習する。	
5	5月21日	処方せんの記載と調剤	歯科医師法に基づく処方せん記載事項を理解し、処方せん記載を学習する。また、調剤時に必要な注意事項を学習する。	
6	5月28日	歯科治療関連の医薬品による副作用	歯科薬物治療において遭遇する薬剤性副作用について学習する。また、処方薬による重篤な副作用について学習する。	
7	6月4日	歯科における注意が必要な処方	歯科薬物療法において、薬剤間での相互作用、剤形による適応症の違い、添付文書改訂と副作用への注意を学習する。	
8	6月11日	医薬品の適用方法	医薬品の適用方法の種類とその利点や欠点について学習する。	桑島 治博
9	6月18日	医薬品の体内動態	医薬品の吸収、分布、代謝、排泄機構の基本的特性について学習する。	
10	6月25日	薬理作用を規定する要因	薬理作用を規定する要因（用量と反応、感受性）について学習する。	
11	7月2日	薬物の副作用・有害反応	薬物の代表的副作用・有害作用（歯科口腔領域も含む）について学習する。	
12	7月9日	薬物相互作用、薬物と飲食物との相互作用	併用される薬物間および薬物と飲食物との相互作用について学習する。	
13	7月16日	小児、妊婦、高齢者の薬物療法	小児、妊婦および高齢者に対して薬物を適用する際の注意点について学習する。	
14	8月27日	全身疾患患者の薬物療法	喘息患者、その他全身疾患を有する患者への投薬に際し考慮すべき点について学習する。	
15	9月3日	まとめ、演習問題・解説	本講義の学習内容を整理し、講義関連のCBT試験対策問題、国試既出問題を解き、自らの習熟度や理解度を点検する。	
16				

# 歯科麻酔と救急処置

授業責任者：佐野公人

教科書：歯科麻酔・全身管理学の手引き第3版・古屋英毅，東理十三雄編集，佐野公人，山城三喜子 編・学建書院

参考書：臨床歯科局所麻酔・東理十三雄 著・永末書店

一般目標：

円滑な歯科診療を遂行するために必要となる局所麻酔の学理と全身管理学の知識を習得する。

行動目標：

1. 局所麻酔の目的を説明する。(E-1-3) -(3)-①)
2. 局所麻酔薬を分類し，その作用機序を説明する。(E-1-3) -(3)-②)
3. 局所麻酔作用に影響を及ぼす因子を説明する。(E-1-3) -(3)-③)
4. 血管収縮薬の種類と特徴を説明する。(E-1-3) -(3)-④)
5. 局所麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-3) -(3)-⑤)
6. 局所麻酔時の合併症を説明する。(E-1-3) -(3)-⑥)
7. 歯科治療中の全身状態に影響を及ぼす疾患を説明する。(E-1-5) -(①)
8. 歯科治療時に注意すべき服用薬剤を説明する。(E-1-3) -(1)-⑦)
9. バイタルサインを列挙し，説明する。(E-1-3) -(1)-①)
10. 一次救命処置の理論と方法を説明する。(E-1-5) -(②～⑥)

学習方略：

講義，示説

評価方法：

客観試験80%，記述試験，出席状況

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月11日	歯科麻酔学の役割	麻酔の理論，諸説，歴史	佐野 公人
2	4月18日	局所麻酔に必要な解剖	神経の構造，末梢神経の生理，歯科領域に分布する神経	高橋 靖之
3	4月25日	局所麻酔法	局所麻酔法の種類（表面麻酔，浸潤麻酔，伝達麻酔）	藤井 一維
4	5月9日	局所麻酔薬の基礎	局所麻酔薬の構造，分類，作用機序	大橋 誠
5	5月16日	局所麻酔薬各論(1)	局所麻酔薬の薬理動態，全身的作用	
6	5月23日	局所麻酔薬各論(2)	局所麻酔薬の種類とその特徴	佐野 公人
7	5月30日	血管収縮薬	血管収縮薬添加の目的，種類 血管収縮薬の薬理，全身的作用	
8	6月6日	局所麻酔と局所的合併症	血腫形成，内出血，キューンの貧血帯，開口障害，遷延性知覚麻痺，咬傷等	
9	6月20日	局所麻酔と全身的合併症(1)	神経性ショック，局所麻酔薬中毒，過換気症候群，アナフィラキシーショック等	秋山 麻美
10	6月27日	局所麻酔と全身的合併症(2)	既存の歯科疾患の増悪，メトヘモグロビン血症，薬剤アレルギーテスト等	佐野 公人
11	7月4日	全身疾患と局所麻酔(1)	全身疾患と局所麻酔との関連（高血圧，虚血性心疾患，脳血管障害等）	高橋 靖之
12	7月11日	全身疾患と局所麻酔(2)	全身疾患と局所麻酔との関連（気管支喘息，糖尿病，甲状腺機能亢進症等）	佐野 公人
13	7月18日	局所麻酔と神経損傷	局所麻酔に伴った神経損傷，種類と対応について	
14	8月29日	バイタルサインと一次救命処置	バイタルサインの把握，心肺蘇生法の理論と実際，総括	
15	9月5日	総括	局所麻酔全般	
16				

# 保存修復学実習

授業責任者：新海航一

教科書：実習ガイドブック（プリント）・歯科保存学第2講座編

参考書：保存修復学 第6版・千田 彰他・医歯薬出版

第4版 保存修復学21・田上順次他・永末書店

保存クリニカルガイド 第2版・千田 彰他・医歯薬出版

## 一般目標：

口腔の機能および審美性を長期間にわたり適正に維持するために、歯の硬組織実質欠損に対する各種修復法を実施するのに必要な知識と技能を習得し、併せて歯科医師として望ましい態度を身につける。

## 行動目標：

1. 修復治療に必要な器材を準備する。
2. 修復治療における各種前準備法を実施する。(E-3-3) -(1)-⑧, ⑮)
3. 各種形態の高洞を形成する。(E-3-3) -(1)-⑩, ⑮)
4. フォアハンドテクニックで高洞を形成する。(E-3-3) -(1)-⑩, ⑮)
5. コンポジットレジン修復を行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
6. 適切なシェードの選択を行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
7. 指定された接着システムに基づく歯面処理を行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
8. 光重合型コンポジットレジンの填塞を的確に行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
9. 光照射を的確に行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
10. 修復物の仕上げ・研磨を的確に行う。(E-3-3) -(1)-⑮)
11. コンポジットレジンインレー修復（間接法）を行う。(D-2-⑦, E-3-3) -(1)-⑮)
12. 暫間的間接覆髄法（IPC）を行う。(E-3-3) -(1)-⑭, ⑮)
13. 実際の患者さんを想定して処置を行う。(E-1-1) -(⑬)

## 学習方略：

示説，実演，シミュレーション実習

## 評価方法：

指導員の評価，製作物の評価，客観試験，シミュレーションテスト，出席状況

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月16日	オリエンテーション、規格窩洞の形成 OSCE課題(5-3)	実習の進め方の説明、レジン顎模型への氏名刻印、規格窩洞の形成（プレパレーションプレート）、ハンドピースと手用切削器具の把持法と使用法	
2	4月23日	人工歯窩洞形成(1) OSCE課題(5-11)	5級（3：F）、3級（1：DB）および4級（1：MBL I）コンポジットレジン窩洞の形成（齲蝕コンポジット歯）	
3	5月7日	人工歯窩洞形成(2) OSCE課題(5-11)	1級（6：O）および2級（4：OD）コンポジットレジン窩洞の形成（齲蝕コンポジット歯）、2級（4：MO）ポーセレンインレー窩洞の形成（コンポジット歯）	
4	5月14日	人工歯窩洞形成(3) OSCE課題(5-11)	コンベンショナル型（21：F）ラミネートベニア窩洞の形成（コンポジット歯）、2級（6：MOD）メタルインレー窩洞	
5	5月21日	人工歯窩洞形成(4) OSCE課題(5-11)	フォアハンド治療の基本動作、フォアハンドテクニックによる1級（6：O）コンポジットレジン窩洞の形成（齲蝕コンポジット歯）、ロールプレイ	新海 航一 海老原 隆 若木 卓 関 秀明 鈴木 雅也 加藤 千景 横江 朋子 江口 洋輔 平 賢久
6	5月28日	修復治療における各種前準備法 OSCE課題(5-10) 客観試験①	1 歯露出法によるラバーダム防湿（1, 5, 6）、多数歯露出法によるラバーダム防湿（4～6）、歯肉排除（1）、歯間分離（1～1）および隔壁装着（4）	
7	6月4日	コンポジットレジン修復(1) OSCE課題(5-1, 5-11)	5級窩洞（3：F）および3級（1：DB）コンポジットレジン修復（前準備、窩洞形成、接着歯面処理、充填、光照射、咬合調整）（齲蝕コンポジット歯）	
8	6月11日	コンポジットレジン修復(2) OSCE課題(5-1, 5-11)	前回修復物の仕上げ研磨 4級（1：MBL I）コンポジットレジン修復（前準備、窩洞形成、接着歯面処理、充填、光照射、咬合調整）（齲蝕コンポジット歯）	（非常勤） 高木 佳子 大久保達人
9	6月18日	コンポジットレジン修復(3) OSCE課題(5-1, 5-10, 5-11)	前回修復物の仕上げ研磨 1級（6：O）および2級（4：OD）コンポジットレジン修復（前準備、窩洞形成、接着歯面処理、充填、光照射、咬合調整）（齲蝕コンポジット歯）	稲葉 友良 吉田 孝 須崎 智勝 田中 紀裕 北村 慶史
10	6月25日	シミュレーションテスト	前回修復物の仕上げ研磨 齲蝕コンポジット歯を用いたコンポジットレジン修復（ラバーダム防湿、窩洞形成、充填、仕上げ研磨）	白野 学 高橋 弘直
11	7月2日	コンポジットレジンインレー修復(1)	2級（4：MO）コンポジットレジンインレー修復① 窩洞形成、レジンコーティング、印象採得、咬合採得、仮封、石膏模型の作製（コンポジット歯）	
12	7月9日	コンポジットレジンインレー修復(2)	2級（4：MO）コンポジットレジンインレー修復② 作業模型作製、咬合器装着、レジンインレーの作製	
13	7月16日	コンポジットレジンインレー修復(3)	2級（4：MO）コンポジットレジンインレー修復③ 接着性レジンセメントの使用法、レジンインレーの装着	
14	8月27日	暫間的間接覆髄法（IPC）(1) OSCE課題(5-11)	1級（6：O）および2級（4：OD）窩洞のIPC（前準備、齲窩の開拡、残置した齲蝕上への覆髄、ガラスアイオノマーセメントの暫間充填、咬合調整）（齲蝕検知液可染性人工歯）	
15	9月3日	暫間的間接覆髄法（IPC）(2) 客観試験② OSCE課題(5-11)	2級（4：OD）コンポジットレジン修復（前準備、暫間修復物の除去、残置した齲蝕の除去、コンポジットレジン修復、咬合調整）（齲蝕検知液可染性人工歯） 全修復物と実習評価表の提出	
16				

# 歯周疾患治療学実習

授業責任者：佐藤 聡

教科書：歯周治療ベーシックマスターガイド・佐藤 聡，仲谷 寛 編集・学建書院

参考書：標準歯周病学・鴨井 久一，山田 了，伊藤 公一 編集・学建書院

## 一般目標：

歯周疾患患者の歯周組織を健全なものとし，長期的に維持するために，ホームケアを基本とした歯周治療の実施に必要な基本的知識，技能，態度を身につける。

## 行動目標：

1. 歯周治療に必要な器材を準備する。
2. 歯肉の異常状態を観察する。
3. 歯周ポケット深さを測定する。(E-3-3) -(3)-②)
4. 根分岐部病変を検査する。(E-3-3) -(3)-②)
5. 歯周疾患患者に対して歯周病の病状の説明をする。(E-3-2) -(④)
6. 歯周疾患患者に対して適切なブラッシング法を指導する。(E-3-3) -(3)-③)
7. スケーリング・ルートプレーニングを行う。(E-3-3) -(3)-③)
8. スケーラーのシャープニングを行う。(E-3-3) -(3)-③)
9. 暫間固定を行う。
10. 歯周外科手術の基本的手技を行う。(E-3-3) -(3)-④)
11. 根分岐部病変Ⅲ度に対する歯根分離を行う。(E-3-3) -(3)-④)

## 学習方略：

示説，実演，シミュレーション実習，ロールプレイ

## 評価方法：

シミュレーションテスト，観察記録，口頭試験，論述試験，出席状況

(単位数：0.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	4月14日	歯周組織検査 (1)	歯肉の視診，ファントーム上でのプロービング，根分岐部病変の検査	佐藤 聡 大森みさき 両角 祐子 阿部 祐三 高塩 智子 千葉 朋義 織田 洋武 中村 俊美 圓山 浩晃 野田つかさ 森田小野花 稲富 道知 鴨井 久博 小倉喜一郎 富井 信之 小口 理 石上 晴海 高居 欣治 澤口 政治 佐藤 直人 佐藤 修一 斎藤 光博 安川 俊之 玉澤 賢 多田和 弘
2	4月21日	歯周組織検査 (2)	相互実習でのプロービング	
3	5月12日	歯周病の病状の説明 OSCE課題(4-1)	ロールプレイによる歯周疾患患者に対する歯周病の病状の説明	
4	5月19日	ブラッシング指導 OSCE課題(4-2)	ロールプレイによる歯周疾患患者に対するブラッシング指導	
5	5月26日	スケーリング・ルートプレーニング(1) OSCE課題 (5-9)	人工歯上でのスケーリング・ルートプレーニングの基本動作，ファントーム上での上下顎前歯部のスケーリング・ルートプレーニング	
6	6月2日	スケーラーのシャープニング	シャープニングの基本動作	
7	6月9日	スケーリング・ルートプレーニング(2) OSCE課題 (5-9)	ファントーム上での上下顎臼歯部のスケーリング・ルートプレーニング	
8	6月16日	スケーリング・ルートプレーニング(3) OSCE課題 (5-9)	ファントーム上でのスケーリング・ルートプレーニング，超音波スケーリング	
9	6月23日	暫間固定	エナメルボンディングレジジン固定，A-スプリント	
10	6月30日	縫合法	縫合の基本動作 ファントーム上での歯間部縫合・懸垂縫合	
11	7月7日	歯肉切除手術	ブタ下顎骨上での歯肉切除手術	
12	7月14日	フラップ手術	ブタ下顎骨上でのフラップ手術	
13	8月25日	根分岐部病変の治療	ファントーム上での歯根分離	
14	9月1日	試験		
15				
16				

# 小児歯科学

授業責任者：関本恒夫

教科書：新小児歯科学 第3版・下岡正八他・クインテッセンス

参考書：小児の歯科治療・下岡正八他・永末書店

小児歯科学 第4版・高木裕三他・医歯薬出版

## 一般目標：

胎児期から成人にいたるまでの小児の口腔ならびに顎顔面領域の健康を維持し増進させるために、疾患や異常を予防し治療するとともに、口腔の健康管理を行い、健全な顎顔面と口腔の形態と機能を育成するための理論と方法を習得する。

## 行動目標：

1. 乳歯と幼若永久歯（根未完成永久歯）の歯髄炎の診察・検査と診断を説明する。(E-2-4) -(3) -(7) (E-4-2) -(5)
2. 乳歯と幼若永久歯（根未完成永久歯）の歯髄炎の処置法の種類と適応症，予後および手順と留意点を説明する。(E-4-2) -(6)
3. 小児の歯の外傷の診察・検査と診断および処置法と予後を説明する。(E-4-2) -(7), (12), E-2-4) -(2)-(2), (4)
4. 乳歯，過剰歯，埋伏歯の抜歯に必要な診察，検査，診断および処置法と予後を説明する。(E-1-1) -(1), (12) (E-1-4) -(1)
5. 咬合誘導の意義と目的を説明する。(E-4-2) -(8)
6. 咬合誘導のための歯列および咬合の診査法と診断について説明する。(E-4-1) -(4)
7. 歯列・咬合を乱す異常の処置について説明する (E-4-1) -(3)
8. 口腔習癖の種類と歯列に対する影響について説明する。(E-2-2) -(3) (E-4-1) -(4)
9. 静的咬合誘導（保隙）の目的と種類，適応症及び留意点を説明する。(E-4-2) -(9)
10. 動的咬合誘導（予防矯正）について説明する。
11. 小児の顎および口腔軟組織の異常と処置について説明する。(E-2-4) -(3)-(7) (E-2-4) -(4) -(1), (2) (E-2-4) -(5)-(3), (4)
12. 小児の薬物療法を説明する。(C-5-3) -(1), (2) (E-1-3) -(1)-(7), (8)
13. 遺伝性疾患，染色体異常，感染症，ビタミン欠乏症，内分泌疾患について説明する。(E-2-4-(1)-(1) (E-2-4-(7)-(4) (E-4-6) -(5) (E-2-4) -(9)-(1), (2), (5), (6), (8), (9)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，TBL

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	4月15日	小児の歯内療法 (1)	乳歯，幼若永久歯の歯髄炎の診察・検査・診断	黒木 淳子
2	4月22日	小児の歯内療法 (2)	乳歯，幼若永久歯の歯髄炎の処置	
3	5月13日	歯の外傷(1)	歯の外傷の診察，検査と診断	
4	5月20日	歯の外傷(2)	歯の外傷の処置法と予後	島田 路征
5	5月27日	小児の外科的処 置	乳歯・過剰歯の抜去，埋伏歯の抜去	
6	6月3日	咬合誘導(1)	咬合誘導の意義と目的	関本 恒夫
7	6月10日	咬合誘導(2)	歯列および咬合の診査と診断	田中 聖至
8	6月17日	咬合誘導(3)	歯列・咬合を乱す異常の処置	関本 恒夫
9	6月24日	咬合誘導(4)	口腔習癖の種類と影響	三瓶 伸也
10	7月1日	咬合誘導(5)	保隙1（静的咬合誘導）	
11	7月8日	咬合誘導(6)	保隙2（静的咬合誘導），動的咬合誘導	
12	7月15日	小児の口腔軟組 織疾患	顎口腔の軟組織の異常と処置，薬物療法	内川 喜盛 (交換講義)
13	7月17日	小児疾患と歯科 治療(1)	遺伝性疾患，染色体異常，感染症，ビタミン欠乏症，内分泌 疾患	三瓶 素子
14	8月26日	小児疾患と歯科 治療(2)	遺伝性疾患，染色体異常，感染症，ビタミン欠乏症，内分泌 疾患	
15	9月2日	総 括	TBL	関本 恒夫 田中，松田
16				

# 小児歯科学実習

授業責任者：島田路征

教科書：新小児歯科学・下岡正八・クインテッセンス  
小児歯科治療「診査・検査・診断」・下岡正八・永末書店

## 一般目標：

小児の健全な成長発育を促すために口腔および口腔周囲組織の異常を予防，または治療するために必要な態度，知識，技能を身につける。

## 行動目標：

1. 治療計画に必要な資料を整える。
2. 幼児期における治療計画を適切に立案する。
3. 適切な術式で乳歯に歯冠修復をする。
4. 適切な術式で予防充填をする。(F-9-2) -①～③)
5. プラークチャートを適切に作製する。
6. 適切な方法でフッ化物の歯面塗布をする。(F-9-1) -①～③)
7. 適切にフッ化物洗口剤を調整し適切にフッ化物洗口をする。
8. 保護者に対し，適切な仕上げ磨きの方法を指導する。(F-9-3) -②)
9. 適切な術式でP.M.T.Cを実施する。
10. 乳歯外傷の適切な診断，治療計画の立案を行い，適切な術式で処置をする。
11. 保隙装置を適切に選択し保隙装置を作製する。
12. 適切な方法で混合歯列期の模型分析(小野の回帰方程式およびMoyersの法則)をする。
13. 指導に必要な態度，マナーをしめす。
14. 安全と清潔に配慮した操作を行う。(F-9-1) -④)
15. 患者や保護者に理解し易い指導を行う。(F-9-3) -①)

## 学習方略：

示説，ロールプレイ，模型実習，実演，相互実習

## 評価方法：

観察記録，レポート，客観試験，出席状況

(単位数：0.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	4月10日	小児の治療計画	医療面接，診査・診断，治療計画の立案	島田 路征 黒木 淳子 三瓶 素子 三瓶 伸也 田中 聖至 北澤 裕美 本間 裕章 松田 貴絵 梅津 英裕 鈴木 広幸 松井 大介 上津 誠司 中山寿賀子 馬場 宏俊
2	4月17日	乳歯の歯冠修復	乳歯のコンポジットレジン修復	
3	4月24日	小児のう蝕予防 (1) OSCE課題(5-7)	幼若永久歯の小窩裂溝填塞	
4	5月8日	小児のう蝕予防 (2) OSCE課題(5-6)	プラークチャートの作製，PMTCおよびフッ化物歯面塗布	
5	5月15日	小児のう蝕予防 (3) OSCE課題(4-4)	保護者へのブラッシング指導，フッ化物洗口	
6	5月22日	乳歯外傷への対応	乳歯外傷の診察・検査と治療計画の立案および診察と予後の推測，乳歯のレジン-ワイヤー法による暫間固定法	
7	5月29日	保隙装置の製作 I (1) OSCE課題(4-5)	保隙装置の選択，設計，管理計画の立案	
8	6月5日	保隙装置の製作 I (2)	既製乳歯金属冠の支台歯形成～既製乳歯金属冠の試適，作業用模型の作製	
9	6月12日	保隙装置の製作 I (3) OSCE課題(4-5)	作業用模型の調整，ワイヤーベンディング，鑲着	
10	6月19日	保隙装置の製作 I (4) OSCE課題(4-5)	研磨，乳臼歯の分割抜歯，保隙装置の装着	
11	6月26日	保隙装置の製作 II (1)	保隙装置の選択，設計，管理計画の立案，作業模型の作製	
12	7月3日	保隙装置の製作 II (2)	人工歯の調整と排列，ワイヤーベンディング	
13	7月10日	保隙装置の製作 II (3)	ワイヤーベンディング，レジンの填入	
14	8月28日	保隙装置の製作 II (4)	研磨，保隙装置の装着	
15	9月4日	混合歯列期の模型分析	小野の回帰方程式，Moyersの法則	
16				

# 部分床義歯補綴学

授業責任者：小出 馨

教科書：クリニカル・クラスデンチャー・小出 馨 編・医歯薬出版

歯学生のパーシャルデンチャー・三谷春保 編・医歯薬出版

参考書：図解・咬合採得・小出 馨 編・医歯薬出版

## 一般目標：

予知性の高い部分床義歯治療を行うために必要な前処置，印象採得，咬合採得，咬合構成，義歯構成要素，義歯装着，義歯調整，義歯修理，経過観察および治療の評価に関する一連の知識を習得する。

## 行動目標：

1. 有床義歯に付与する適切な咬合様式を説明する。(F-3-4)-(2)-⑤)
2. 有床義歯に用いる人工歯の構成と排列基準を説明する。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
3. 部分床義歯のための印象採得法の種類と適応を説明する。(F-3-4)-(2)-⑦, ⑩)
4. 部分床義歯のための適切な咬合採得法を説明する。(F-3-4)-(2)-⑧, ⑩, ⑪)
5. 部分床義歯の連結装置について，その役割と具備条件を説明する。(F-3-4)-(2)-④, ⑥)
6. 連結装置の症例に応じた設定基準を説明する。(F-3-4)-(2)-⑥)
7. 部分床義歯の埋没，重合，研磨を説明する。(F-3-4)-(2)-⑪)
8. 義歯装着時の調整手順，患者指導内容を説明する。(F-3-4)-(2)-⑬, ⑭)
9. 治療義歯など各種義歯の意義，目的，適応を説明する。(F-3-4)-(2)-①, ②)
10. 義歯修理，リラインとリベースの目的と方法を説明する。(F-3-4)-(2)-⑬)
11. 義歯装着後の経過観察事項と評価基準を説明する。(F-3-4)-(2)-⑭)

## 学習方略：

講義，示説

## 評価方法：

客観試験・論述試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月16日	前歯部の歯列構成	前歯部歯冠形態の構成基準と形態に応じた審美的人工歯排列基準	小出 馨
2	4月23日	咬合様式(1)	咬合様式と咬合面形態の変遷と症例に応じた使い分け	
3	5月7日	咬合様式(2)	各種咬合様式の比較（フルバランスドオクルージョンとリンガライズドオクルージョンの理論的背景）	佐藤 利英
4	5月14日	臼歯部の歯列構成	臨床で有効な臼歯人工歯の構成と排列基準	
5	5月21日	印象採得(1)	部分床義歯のための印象採得法の種類，適応および使用材料	小野 兼義
6	5月28日	印象採得(2)	症例に応じた印象採得の実際	
7	6月4日	作業模型の製作	部分床義歯のための作業模型製作基準	
8	6月11日	咬合採得	症例に応じた咬合採得の実際	四反田 究
9	6月18日	連結装置	連結装置の役割と種類，特性，具備条件	小出 馨
10	6月25日	大連結子(1)	上顎に用いる各種大連結子の特徴と症例に応じた設定基準	水橋 史
11	7月2日	大連結子(2)	下顎に用いる各種大連結子の特徴と症例に応じた設定基準	高橋 睦
12	7月9日	部分床義歯の製作(1)	メタルフレームのための耐火模型の製作とワックスアップの実際	小出 馨
13	7月16日	部分床義歯の製作(2)	部分床義歯製作における歯科技工理論と各種技工操作の実際（埋没，重合，研磨）	
14	8月27日	部分床義歯の装着と，予後評価基準，メンテナンス	部分床義歯装着時の義歯調整と患者教育，メンテナンスの意義・目的・方法と予後の評価基準	
15	9月3日	総括	部分床義歯補綴治療の理論と術式のまとめ	
16				

# 全部床義歯補綴学実習

授業責任者：小出 馨

教科書：全部床義歯補綴学実習書（歯科補綴学第1講座 編）

参考書：デザインング・コンプリートデンチャー・小出 馨 編・医歯薬出版

## 一般目標：

全部床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、全部床義歯の設計、製作、治療に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

## 行動目標：

1. 全部床義歯治療に必要な器具、器材を準備する。(F-3-4)-(2)-⑩)
2. フルバランスドオクルージョンとリングライズドオクルージョンの咬合接触関係を説明し、咬合様式模型を完成させる。(F-3-4)-(2)-⑤)
3. スプリットキャストを製作し、咬合器に作業模型を装着する。(F-3-4)-(2)-⑪)
4. 前歯部人工歯を審美的、機能的に排列する。(F-3-4)-(2)-⑥, ⑩, ⑪)
5. リングライズドオクルージョンのための臼歯部人工歯排列を行う。(F-3-4)-(2)-⑥, ⑩, ⑪)
6. 削合により両側性平衡型リングライズドオクルージョンを構成する。(F-3-4)-(2)-⑤, ⑪)
7. 周囲組織と調和した床研磨面の形態付与と審美的な歯肉形成の回復を行う。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
8. フラスコへ蠟義歯を埋没する。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
9. 的確に流蠟、レジン填入、重合の操作を行う。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
10. 重合後の義歯堀り出しと咬合器への義歯再装着を行う。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
11. 重合後の中心咬合位と偏心位の削合を行う。(F-3-4)-(2)-⑪, ⑬)
12. 義歯の研磨を効率的に行う。(F-3-4)-(2)-⑬, ⑭)
13. 残存組織保全と機能回復率向上を両立させる全部床義歯を完成させる。(F-3-4)-(2)-⑬)
14. 実際の患者さんを想定して、全部床義歯による補綴治療のための処置を行う。(F-3-4)-(2)-③, ⑬)

## 学習方略：

示説、デモンストレーション、技工実習

## 評価方法：

製作物、進行状況、筆記試験、出席状況

(単位数：1.0)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月11日	概説, 全部床義歯の診断と設計	全部床義歯による補綴治療と本実習の概説診断・設計模型の製作(ペインティング), フルバランスドオクルージョンとリンガライズドオクルージョン	小出 馨 近藤 敦子 浅沼 直樹 佐藤 利英 水橋 史 高橋 睦 清水 公夫 渥美陽二郎 水橋 亮 荒川いつか 植木 誠 岡林 昌彦 大沼 智之 反町 晋康
2	4月18日	スプリットキャストの製作, 模型装着	作業模型の前準備, 咬合器への模型装着	
3	4月25日	人工歯排列(1)	上顎前歯部人工歯の排列	
4	5月9日	人工歯排列(2)	下顎前歯部人工歯の排列	
5	5月16日	前歯部削合	前歯部人工歯の削合	
6	5月23日	人工歯排列(3)	上顎臼歯部人工歯の排列	
7	5月30日	人工歯排列(4)	下顎臼歯部人工歯の排列	
8	6月6日	臼歯部削合	臼歯部人工歯の削合, リンガライズドオクルージョンの構成	
9	6月20日	歯肉形成	周囲組織と調和した床研磨面の形態付与と審美的な歯肉形態の回復	
10	6月27日	埋没	上下顎蝕義歯のフラスコ埋没	
11	7月4日	流蝕, レジン填入, 重合	流蝕, レジン填入, 重合	
12	7月11日	堀り出し, リマウント, 削合(1)	重合後の義歯堀り出し, 咬合器への義歯再装着, 人工歯削合	
13	7月18日	削合(2)	人工歯削合(中心咬合位と偏心位の削合)	
14	8月29日	研磨	義歯の研磨	
15	9月5日	義歯完成	義歯完成, 提出, 筆記試験	
16				

# 歯冠補綴架工義歯学

授業責任者：渡邊文彦

教科書：第四版 クラウン・ブリッジ補綴学・石橋寛二，川添堯彬，福島俊士，矢谷博文・医歯薬出版株式会社

参考書：標準クラウンブリッジ補綴学・羽賀通夫ら・医学書院  
クラウンブリッジの臨床 3rd Edition・Stephen F. Rosenstiel, Martin F. Land, Junichi Fujimoto・医歯薬出版

## 一般目標：

1 歯ないし数歯の実質欠損に対して機能的，審美的また長期間の予後を確立するために，橋梁理論により欠如歯の歯冠形態，咀嚼，嚥下発音機能および外観を回復するに必要な理論および術式を習得する。

## 行動目標：

1. クラウンブリッジの支台歯形成方法と原則を説明する。(E-3-4) -(1)-(4)
2. 支台築造の臨床的意義と築造を説明する。(E-3-4) -(1)-(3)
3. 印象法，印象材料を説明する。(E-3-4) -(1)-(9)
4. 歯肉圧排の目的と方法を説明する。(E-3-4) -(1)-(9)
5. テンポラリークラウンの目的と製作法を説明する。(E-3-4) -(1)-(5)
6. 咬合採得の意義と咬合採得法をする。(E-3-4) -(1)-(9)
7. 色調選択法を説明する。(E-3-4) -(1)-(12)
8. フェイスボウトランスファー，咬合器調節の基本操作を説明する。(E-3-4) -(1)-(11)
9. 支台装置とポンティックの種類，適応，特徴を説明する。(E-3-4) -(1)-(2)
10. 作業模型の種類と特徴を説明する。(E-3-4) -(1)-(7)
11. ろう型形成，埋没，鋳造，熱処理，研磨の操作と注意点を説明する。(E-3-4) -(1)-(14)
12. 陶材焼付鋳造冠，レジン前装冠の適応，製作技法を説明する。(E-3-4) -(1)-(14)
13. クラウン，ブリッジの試適時の調整手順と装着操作を説明する。(E-3-4) -(1)-(12)
14. インプラント補綴，キャストブルセラミック，接着の補綴法を説明する。(E-3-4) -(1)-(14), E-3-4) -(3)-(1)
15. 術後管理の重要性と方法を説明する。(E-3-4) -(1)-(15)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，論述試験，出席状況

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月11日	支台歯形成	クラウンブリッジの支台歯形成方法	渡邊 文彦
2	4月18日	支台築造	支台築造法	
3	4月25日	印象法と印象材	クラウンブリッジにおける印象法, 印象材料	
4	5月9日	歯肉圧排とテンポラリークラウンの目的	歯肉圧排の目的と方法とテンポラリークラウンの目的と製作法	
5	5月16日	咬合採得法と意義・フェイスボウトランスファーと咬合器調整	咬合採得の意義と咬合採得法, フェイスボウトランスファー, 咬合器の基本操作	
6	5月23日	色調採得法とポンティックの形態を適応	色調選択法, 支台装置, ポンティックの種類, 適応, 特徴	井田 泉
7	5月30日	診断用模型の意義と作業模型	診断用模型の診査, 診断と作業模型の種類, 製作法	橋本 和雄
8	6月6日	ブリッジの種類と製作法	ブリッジの術後管理の目的, 製作法	渡邊 文彦
9	6月20日	ろう型形成, 埋没, 鋳造	ろう型形成, 埋没, 鋳造操作の注意点	
10	6月27日	熱処理, 研磨, 試適, 装着	熱処理, 研磨, 試適, 装着操作の注意点	
11	7月4日	陶材焼付鋳造冠, レジン前装冠, オールセラミッククラウン	陶材焼付鋳造冠, レジン前装冠, オールセラミッククラウン適応症	
12	7月11日	ブリッジの新技法	キャストブルセラミック, 接着の補綴法	新谷 明喜 (交換授業)
13	7月18日	術後管理	リコールにおける検査項目	渡邊 文彦
14	8月29日	装着後に発生する問題点とその対応	トラブルの対処法	
15	9月5日	まとめ	架工義歯学の総括	
16				

# 歯冠補綴架工義歯学実習

授業責任者：黒川裕臣

教科書：歯冠補綴架工義歯学実習指針・日本歯科大学

## 一般目標：

口腔の機能回復と残存組織の保全を図るために、クラウン・ブリッジの支台歯形態を理解し、支台歯形成からプロビジョナルレストレーションまでの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 行動目標：

1. 必要な器材を選択し準備する。(E-3-4) -(1)-④, ⑤, ⑥, ⑨)
2. 整理整頓された環境を維持する。
3. 清潔不潔の概念を持って行う。
4. 処置に応じた患者・術者の体位、術野を確保する。
5. ハンドピースを適切に操作する。(E-3-4) -(1)-④, ⑥)
6. 支台歯形成する歯を正しく選択する。(E-3-4) -(1)-④)
7. 支台歯形成時に歯髄保護を行う。(E-3-4) -(1)-④)
8. 基本的な支台歯形態を形成する。(E-3-4) -(1)-④)
9. ブリッジの平行性を考慮した支台歯形成を行う。(E-3-4) -(1)-④, ⑬)
10. 間接法による築造窩洞の形態を形成する。(E-3-4) -(1)-③, ④)
11. 直接法による支台築造を行う。(E-3-4) -(1)-③, ④)
12. 常温重合レジンを用いて暫間被覆冠を製作し仮着する。(E-3-4) -(1)-⑤)
13. アルジネート印象材を手練和する。(E-3-4) -(1)-⑥, ⑦)
14. 概形印象、精密印象を適切に採得する。(E-3-4) -(1)-⑥, ⑦, ⑨)
15. 安全性に配慮した操作をする。

## 学習方略：

示説，シミュレーション実習，技工実習

## 評価方法：

論述試験，観察記録，シミュレーションテスト，製作物，出席状況

(単位数：1.0)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月15日	オリエンテーション 支台歯形成の基本操作(1) OSCE課題(5-3)	オリエンテーション 実習用顎模型前準備 切削練習[円柱・角柱]	
2	4月22日	支台歯形成の基本操作(2) OSCE課題(5-3)	模型上, ファントーム上での全部鋳造冠の支台歯形成	
3	5月13日	支台歯形成の基本操作(3) OSCE課題(5-3)	ファントーム上での全部鋳造冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成	
4	5月20日	支台歯形成の基本操作(4) OSCE課題(5-3)	ファントーム上での前装鋳造冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成	
5	5月27日	支台歯形成の基本操作(5) OSCE課題(5-3)	ファントーム上での4/5冠の支台歯形成	
6	6月3日	支台歯形成の基本操作(6) OSCE課題(5-3)	ファントーム上での前装鋳造冠と3/4冠の支台歯形成	赤川 将 飯島 浩
7	6月17日	支台歯形成の基本操作(7) OSCE課題(5-3)	ファントーム上での全部鋳造冠とオールセラミッククラウンの支台歯形成	猪子 芳美 小澤 誠
8	6月24日	支台歯形成の基本操作(8) OSCE課題(5-3)	ファントーム上でのブリッジの支台装置としてオールセラミッククラウンの支台歯形成	黒川 裕臣 杉山 貴彦
9	7月1日	支台歯形成の基本操作(9) OSCE課題(5-3)	ファントーム上でのブリッジの支台装置として4/5冠とプロキシマルハーフクラウンの支台歯形成	瀬戸 宗嗣 高桑 雅宣
10	7月8日	支台歯形成の基本操作(10) OSCE課題(5-3)	ファントーム上でのブリッジの支台装置としてD字型による接着ブリッジの支台歯形成	高瀬 一郎 多和田泰之
11	7月15日	支台築造(1,2), 精密印象	既製ポストを用いた直接法による支台築造 築造窩洞の形成と付加型シリコーンゴム印象材による精密印象採得	中村 雅裕 村田 容子
12	7月17日	支台歯形成の基本操作(11), 暫間被覆冠(1), 印象採得 OSCE課題(5-3, 5-4)	支台築造後のオールセラミッククラウンの支台歯形成と直接法暫間被覆冠の製作・仮着 間接法による暫間被覆冠の製作のための印象採得	渡邊 文彦
13	8月26日	暫間被覆冠(2) OSCE課題(5-4)	圧接法(直接法)および筆積み法(間接法)による暫間被覆冠の製作	
14	9月2日	支台歯形成と筆記試験	指定した課題の支台歯形成(採点)と筆記試験	
15				
16				

# 口腔顎顔面外科学

授業責任者：田中 彰

教科書：標準口腔外科学・野間弘康ほか編集・医学書院

## 一般目標：

口腔顎顔面領域に生じる疾患に対応するために、種類と概要および各疾患の原因、病態、症状、診断、治療および予後について理解する。

## 行動目標：

1. 嚢胞性疾患の病態、症状、診断および治療を説明する。(E-2-4) -(5)-①～④)
2. 前癌病変の病態、症状、診断および治療を説明する。(E-2-4) -(5)-⑩, ⑪)
3. 腫瘍病変の病態、症状、診断および治療を説明する。(E-2-4) -(5)-⑤, ⑫, ⑬)
4. 腫瘍類似疾患の病態、症状、診断および治療を説明する。(E-2-4) -⑧, ⑨)
5. 唾液腺疾患の病態、症状、診断および治療を説明する。(E-2-4) -(7)-①～⑤)

## 学習方略：

## 評価方法：

客観試験，論述試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	4月14日	嚢胞疾患(1)	顎骨に発生する歯源性嚢胞	小林英三郎
2	4月21日	嚢胞疾患(2)	顎骨に発生する非歯源性嚢胞及び類似疾患	
3	5月12日	嚢胞疾患(3)	軟組織に発生する非歯源性嚢胞及び類似疾患(唾液腺由来の嚢胞は別におこなう)	森 和久
4	5月19日	腫瘍および類似疾患(2)	乳頭腫, 線維腫, 多形腺腫, 骨腫, 神経系腫瘍	
5	5月26日	腫瘍および類似疾患(3)	血管腫, リンパ管腫	田中 彰
6	6月2日	腫瘍および類似疾患(1)	エナメル上皮腫, 腺様歯源性腫瘍, 歯牙腫, セメント質腫	森 和久
7	6月9日	腫瘍および類似疾患(4)	化骨性線維腫, histiocytosis X, エプーリス, 義歯性線維腫, 線維性骨異形成症	小根山隆浩
8	6月16日	腫瘍および類似疾患(5)	前癌病変と前癌状態	佐藤 英明
9	6月23日	腫瘍および類似疾患(6)	悪性腫瘍:口腔癌, TNM 分類	田中 彰
10	6月30日	腫瘍および類似疾患(7)	悪性腫瘍: 舌癌, 口底癌, 下顎歯肉癌, 頬粘膜癌, 上顎歯肉癌, 口蓋癌	
11	7月7日	唾液腺疾患(1)	唾液腺の炎症-細菌, ウイルス感染, 唾石, 嚢胞性疾患および類似疾患	又賀 泉
12	7月14日	腫瘍および類似疾患(8)	悪性腫瘍:肉腫, 悪性リンパ腫, 悪性黒色腫	森 和久
13	8月25日	唾液腺疾患(2)	唾液腺腫瘍, 口腔乾燥症, シェーグレン症候群, ミクリッツ症候群	戸谷 収二
14	9月1日	診断のための臨床検査	炎症性疾患: 全身性炎症反応症候群 (SIRS), 菌血症と敗血症, 病巣感染症	森 和久
15				
16				

# 高齢者歯科学

授業責任者：黒川裕臣

教科書：高齢者歯科ガイドブック・植松 弘／稲葉 繁・医歯薬出版株式会社

参考書：高齢者歯科学・監修 渡辺 誠 監訳 稲葉 繁／高江州義矩／森戸光彦・書林（教科書  
相談）

高齢者歯科診療ガイドブック・下山和弘・口腔保健協会

## 一般目標：

高齢者に対する歯科診療の困難性，心理的変化，コミュニケーションおよび在宅要介護者の特性と臨床の問題点とそれらを解決する知識を習得する。

## 行動目標：

1. 患者中心のチーム医療の意義を説明する。(A-7-3) -①, ②)
2. 福祉・介護の連携を理解し，歯科医師の役割を説明する。(A-7-3) -③)
3. 医療保険・介護保険を説明する。(B-2-2) -③, ④)
4. 高齢者のおかれた社会環境を説明する。(B-2-2) -⑤)
5. 地域医療に求められる役割と機能および体制等，地域医療の在り方を説明する。(B-2-2) -⑧)
6. 地域における保健・医療・福祉・介護の分野間の連携および他職種間の連携の必要性について説明する。(B-2-2) -⑨)
7. 地域医療の基盤となるプライマリ・ケアの必要性を説明する。(B-2-1) -⑩)
8. 嚥下の機序を説明する。(E-2-1) -⑧)
9. 老化の身体的，精神的および心理的特徴を説明する。(E-4-3) -①)
10. 老化に伴う口腔諸組織の構造と機能の変化を説明する。(E-4-3) -②)
11. 高齢者に多くみられる疾患を説明する。(E-4-3) -③)
12. 高齢者における口腔ケアを説明する。(E-4-3) -④)
13. 口腔機能向上による介護予防を説明する。(E-4-3) -⑤)
14. 高齢者の歯科治療時の全身管理を説明する。(E-4-3) -⑥)
15. 要介護高齢者（在宅要介護者含む）の歯科治療時の注意点を説明する。(E-4-3) -⑧)
16. 歯科訪問診療について説明する。(E-4-3) -⑨)
17. 摂食・嚥下障害のスクリーニング検査を説明する。
18. 摂食・嚥下障害の診察，検査，診断を説明する。(E-4-3) -⑩)
19. 摂食・嚥下リハビリテーションを説明する。(E-4-3) -⑪)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月10日	高齢者理解の基本(1)	加齢に伴う・歯・顎・口腔の生理的，機能的变化	佐藤 義英
2	4月17日	高齢者理解の基本(2)	高齢者歯科の重要性，高齢者と社会，高齢者の口腔保健	石井 瑞樹
3	4月24日	高齢者理解の基本(3)	少子・高齢・人口減少社会の現状 福祉・介護における各職種の役割と連携	
4	5月8日	高齢者歯科の特徴と対処の基本(1)	高齢者歯科における全身管理，バイタルサイン 危機管理	高橋 靖之
5	5月15日	高齢者歯科の特徴と対処の基本(2)	高齢者に多い基礎疾患と必要な医療連携	田中 彰
6	5月22日	高齢者歯科の特徴と対処の基本(3)	高齢者に多い顎口腔領域の疾患 高齢者の感染予防対策	
7	5月29日	高齢者歯科の特徴と対処の基本(4)	高齢者の心理的・精神的特徴 心理的・精神的ケア	江面 晃
8	6月5日	高齢者歯科の特徴と対処の基本(5)	高齢者における薬物投与の原則 高齢者における薬物投与の実際	竹野 敏彦
9	6月12日	高齢者の歯科治療の実際	高齢者の歯科保存治療，歯周治療，補綴治療，言語障害の歯科的対応	清水 公夫
10	6月19日	高齢者の摂食・嚥下のリハビリテーション	摂食・嚥下機能の概念，障害の原因	黒川 裕臣
11	6月26日	要介護高齢者の摂食・嚥下のリハビリテーション	要介護高齢者の摂食・嚥下リハビリテーションの評価と対応	
12	7月3日	高齢者におけるオーラルヘルスケア	高齢者の口腔衛生環境，口腔ケアの重要性と実際	両角 祐子
13	7月10日	要介護高齢者におけるオーラルヘルスケア(1)	要介護高齢者の口腔内の特徴と専門的口腔ケアの実際	
14	8月28日	要介護高齢者におけるオーラルヘルスケア(2)	要介護高齢者の栄養管理の基本と実際	江面 晃
15	9月4日	訪問歯科診療	訪問歯科診療の留意点と実際，他職種の連携	白野 美和
16				

# 歯科心身医学

授業責任者：佐野公人

教科書：心身医学用語辞典・日本歯科心身医学会編集・医歯薬出版株式会社

一般目標：

歯科領域における心身症を理解するために、診断・治療に必要な知識を習得する。

行動目標：

1. 歯科心身症を説明する。(E-4-5) -②)
2. 歯科心身症を分類し、その成因を説明する。(E-4-5) -①)
3. 歯科心身症が全身に及ぼす影響を説明する。(E-4-5) -①, ③)
4. 歯科心身症の診断に必要な検査を述べる。(E-4-4) -④)
5. 歯科心身症の治療法を列挙する。(E-4-5) -⑤, ⑥)
6. 歯科心身症と社会背景を説明する。(E-4-5) -①, ⑦)

学習方略：

講義

評価方法：

客観試験，論述試験，出席状況

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	6月17日	歯科心身医学総論	歯科領域における心身医学とは 歯科診療とストレス	佐野 公人
2	6月24日	各論(1)	顎関節症の症状, 特徴, 治療法	中村 直樹
3	7月1日	各論(2)	舌痛症の症状, 特徴, 治療法	
4	7月8日	各論(3)	歯科治療恐怖症の症状, 特徴, 治療法	佐野 公人
5	7月15日	各論(4)	不定愁訴の症状, 特徴, 治療法	
6	7月17日	各論(5)	口腔異常感症, 口腔内セネストパシーの症状, 特徴, 治療法	
7	8月26日	各論(6)	歯科心身症に必要な検査	
8	9月2日	歯科心身症のまとめ	総括	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 臨床診査・検査学

授業責任者：森 和久

教科書：改訂版 歯科学生のための診査・検査学入門・鴨井久一，勝海一郎・永末書店

## 一般目標：

歯科医療において必要な全身および口腔顎顔面領域の臨床診査・検査を身につけるために，その特徴，種類および適応を理解する。

## 行動目標：

1. 臨床診査・検査の意義と基本的診査について述べる。(E-1-1) -①, ⑧, ⑨)
2. 歯と歯周組織の基本的診査法について説明する。(E-3-3) -(1)-①, E-3-3) -(3)-②)
3. 血球検査，止血機能検査の種類とそれぞれの正常範囲について述べる。(E-1-1) -⑮)
4. 血球検査・止血機能に異常をきたす疾患について述べる。(E-1-1) -⑮)
5. 血液生化学検査の目的・種類・適応について述べる。(E-1-1) -⑮)
6. 生体機能検査，尿検査の目的・種類・適応について述べる。(E-1-1) -⑮)
7. 免疫学的検査の種類と適応について述べる。(E-1-1) -⑮)
8. 微生物学検査・病理組織学検査の目的・種類・適応について述べる。(E-2-4) -(3)-③, E-2-4) -(5)-⑦)
9. 呼吸・循環の生理と呼吸器・循環器の構成について述べる。(C-2-3) -(3)-①, C-2-3) -(7))
10. 呼吸機能検査の種類・内容と肺気量分画の各項目について述べる。(C-2-3) -(7)-②)
11. 心臓の刺激伝導系・心電図波形の成り立ちと重要な不整脈について述べる。(C-2-3) -(3)-①)
12. 顎口腔系筋機能診査の意義と診査法について述べる。(E-2-1) -②, ⑤, ⑧, E-2-2) -⑥)
13. 画像検査実施の臨床判断と正当化について述べる。(E-1-2)
14. 画像検査法の目的・種類・適応について述べる。(E-1-2)
15. 各種口腔疾患，基礎疾患における臨床検査について述べる。(E-1-1) -②)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

論述試験，出席状況

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月10日	臨床検査学総論 一般診査	臨床検査学総論：意義 基本的診査：問診，視診，触診，聴診，打診	森 和久
2	4月17日	微生物学的検査 病理組織学検査	病理組織診断：細胞診，生検，剖検 微生物学的検査：細菌検査，ウイルス検査	
3	4月24日	血液学検査(1)	血球検査，止血機能検査	
4	5月8日	血液学検査(2)	血液生化学検査（血糖検査，蛋白，含窒素成分，脂質，生体色素，酸素，電解質，重金属，血中ビタミン，ホルモン）	戸谷 収二
5	5月15日	血液学検査(3) 尿検査	生体機能検査（肝胆道機能，膵機能，内分泌・代謝機能，腎機能），一般尿検査	
6	5月22日	歯と歯周組織の 診査	歯と歯周組織の基本的診査	佐藤 聡
7	5月29日	免疫学検査	感染免疫，腫瘍マーカー	森 和久
8	6月5日	生体機能検査(1)	呼吸機能検査	佐野 公人
9	6月12日	生体機能検査(2)	心機能検査	
10	6月19日	唾液の機能	唾液の機能	高橋 睦
11	6月26日	顎口腔系機能	顎口腔系機能	小出 馨
12	7月3日	画像検査(1)	画像検査実施の臨床判断と正当化	佐々木善彦
13	7月10日	画像検査(2)	画像検査法の種類	
14	8月28日	疾患と臨床検査 (1)	各種口腔疾患，基礎疾患と臨床検査(1)	森 和久
15	9月4日	疾患と臨床検査 (2)	各種口腔疾患，基礎疾患と臨床検査(2)	
16				

# 歯科医のための内科学

授業責任者：大越章吾

教科書：歯科のための内科学（井田和徳など著），南江堂

## 一般目標：

良好な医師と看護師，コ・メディカル，患者との人間関係を築き，医療現場でお互いが信頼しあえる人間関係（human relationship）を確立するために，歯学を修めるにあたり必要と考えられる内科学の総論についての知識を系統的に習得する。また内科学総論の知識を基本として歯学を修めるために，必要と考えられる内科的疾患についての知識を系統的に習得する。

## 行動目標：

1. 内科学全般について説明する。（E-4-6）-①
2. インフォームド・コンセントを説明する。（A-4-①）
3. 全人的立場に立った広い視野から医療従事者としての心構えを述べる。（A-2-①，②）
4. 日常よく経験する内科的疾患について説明する。（E-4-6）-①，②
5. 問診から確定診断に至るまでのプロセスを医学的思考で説明する。（E-4-6）-③
6. 内科的合併病を有する患者に歯科治療を行う際に必要と思われる基本的な内科的知識を述べる。（E-4-6）-①，②，④，⑤

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

論述試験，客観試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	4月14日	患者への接し方と全身診察法(1)	主要な全身症状(1)	大越 章吾
2	4月21日	患者への接し方と全身診察法(2)	主要な全身症状(2)	
3	5月12日	患者への接し方と全身診察法(3)	主要な全身症状(3)	
4	5月19日	患者への接し方と全身診察法(4)	主要な全身症状(4)	
5	5月26日	患者への接し方と全身診察法(5)	主要な全身症状(5)	
6	6月2日	循環器疾患(1)	総論, 心不全, 高血圧	
7	6月9日	循環器疾患(2)	虚血性心臓病	
8	6月16日	循環器疾患(3)	心臓弁膜症, 不整脈	
9	6月23日	循環器疾患(4)	感染性心内膜炎, その他	
10	6月30日	腎臓疾患	腎炎, 腎不全	
11	7月7日	膠原病	SLEなど	
12	7月14日	呼吸器疾患(1)	総論, 呼吸不全	
13	8月25日	呼吸器疾患(2)	喘息, COPD	
14	9月1日	呼吸器疾患(3)	嚥下性肺炎, 肺結核, サルコイドーシス	
15				
16				



## 第4学年 後期授業科目 目次

医 療 倫 理	44
医 療 法 律 学	46
歯科医療コミュニケーション実習	48
医療情報・医療管理学	50
歯科麻酔と救急処置	52
口腔顎顔面外科手術学	54
口腔外科学・全身管理学実習	56
歯内療法学実習	58
部分床義歯補綴学実習	60
歯冠補綴架工義歯学実習	62
口腔顎顔面外科診断治療学	64
障 害 者 歯 科 学	66
歯 性 感 染 症	68
顎咬合診断・口腔インプラント学	70
口腔インプラント学実習	72
歯科医のための内科学	74
外 科 学	76
耳 鼻 咽 喉 科 学	78

# 医 療 倫 理

授業責任者：藤井一維

教科書：歯科医療倫理Q & A・大井賢一，木阪昌知・太陽出版

## 一般目標：

歯科医師として責務を全うするために，歯科医学研究および歯科医療における倫理の重要性を理解する。

## 行動目標：

1. 患者の権利を説明する。(A-1-①)
2. 患者の自己決定権を説明する。(A-1-②)
3. 患者が自己決定できない場合の対応を説明する。(A-1-③)
4. 医の倫理の歴史経過と諸問題を概説する。(A-2-①)
5. バイオエシックスについて概説する。(A-2-①)
6. 医の倫理に関する規範・国際規範を概説する。(A-2-②)
7. 生と死に関わる倫理的問題を説明する。(A-2-③)
8. インフォームド・コンセントの定義と重要性を説明する。(A-4-①)
9. コミュニケーションの目的と技法を説明する。(A-7-1) -①)
10. コミュニケーションの条件を説明する。(A-7-1) -②)
11. コミュニケーションが良好な人間関係構築に関係することを説明する。(A-7-1) -③)
12. 医療面接に必要な知識を説明する。(A-7-2) -①，⑥～⑧)
13. 臨床倫理4分割表を説明する。

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験（臨時試験）

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月2日	患者の権利 コミュニケーション	患者の権利を説明する。 コミュニケーションの目的と技法および条件を説明する。	藤井 一維
2	10月9日	自己決定権 医療面接	患者の自己決定権と患者が自己決定できない場合の対応を説明する。医療面接について概説する。	
3	10月16日	医の倫理(1)	医の倫理の歴史経過と諸問題を概説する。	中村 直樹
4	10月23日	医の倫理(2)	医の倫理に関する規範・国際規範とバイオエシックスを概説する。	
5	10月30日	医の倫理(3)	生と死に関わる倫理的問題を説明する。	
6	11月13日	インフォームド・コンセント	インフォームド・コンセントの定義と重要性を説明する。	藤井 一維
7	11月20日	臨床倫理 4 分割	臨床倫理を検討する方略としての臨床倫理 4 分割表を説明する。	
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 医療法律学

授業責任者：寺尾昌樹

教科書：医事法講義（新編）・前田和彦・信山社  
医療法律学判例集

参考書：医事法入門 第2版（有斐閣アルマ）・手嶋 豊・有斐閣  
医事法セミナー新版（第2版）・前田和彦・医療科学社

## 一般目標：

歯科医師としての業務を遂行するために、歯科医師法、関連法規および患者の権利義務を理解し、歯科医師として求められる基本的な法律関係の知識と考え方を習得する。

## 行動目標：

1. 歯科医師法上の歯科医師の義務および関連法規の基本的な考え方について説明する。（A-3-⑤, C-2-1）-①
2. 医療法を概説する。（C-2-1）-②
3. 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説する。（C-2-1）-③
4. 医師法、薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説する。（C-2-1）-④
5. 医療契約の特性と医療契約に基づく歯科医師と患者の権利義務について説明する。
6. 医療行為の適法性について説明する。
7. 歯科医師の法的責任（行政責任、民事責任、刑事責任）を説明する。
8. 医療の注意義務と医療水準について説明する。
9. 患者の自己決定、インフォームド・コンセント、説明義務について説明する。（A-1-②, A-4-①）
10. 医療過誤の内容について概説する。（A-5-①～⑤）
11. バイオエシックスと限界的医療の意義、問題点について指摘する。

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

論述試験，客観試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月2日	法の概念	法とは何か（法の体系，一般私法の基礎，歯科医師と法の関わり）	寺尾 昌樹
2	10月9日	医療と法(1)	歯科医師法の内容，歯科医師の法律上の義務，責任	藤井 一雄
3	10月16日	医療と法(2)	医療法，歯科衛生士法および歯科技工士法	
4	10月23日	医療と法(3)	医師法，薬剤師法，保健師助産師看護師法	寺尾 昌樹
5	10月30日	医療と法(4)	医療に関わる刑事責任，刑法とは何か(1)	
6	11月13日	医療と法(5)	医療に関わる刑事責任，刑法とは何か(2)	
7	11月20日	医療と法(6)	医療行為が適法とされる根拠や条件とその具体的事例	
8	11月27日	医療と法(7)	医療に関わる権利義務，民法とは何か(1)	
9	12月4日	医療と法(8)	医療に関わる権利義務，民法とは何か(2)	
10	12月11日	医療契約	医療側と患者との権利義務を律する契約および医療契約	桑原万理子
11	12月18日	歯科医師の注意義務と医療水準	歯科医師に科せられる注意義務およびそこで求められる医療水準	
12	1月8日	患者の自己決定権，I C，説明義務(1)	インフォームド・コンセントや自己決定権とその意義，また歯科医師の説明義務についての裁判例	
13	1月15日	患者の自己決定権，I C，説明義務(2)	インフォームド・コンセントや自己決定権とその意義，また歯科医師の説明義務についての裁判例	
14	1月22日	医療過誤と法的責任	医療過誤とは何か，どのような責任が問われるのか	
15	1月29日	バイオエシックスと限界的医療	医療面におけるバイオエシックスとはどのような考え方か，限界的医療との関連	
16				

# 歯科医療コミュニケーション実習

授業責任者：長谷川 優

教科書：プリント

参考書：患者の診かたと歯科診療・黒崎紀正ほか著・医歯薬出版

でんたるこみゅにけーしょん ―歯科医療面接総論―・山田隆文著・学建書院

## 一般目標：

患者との良好な信頼関係を築き、また円滑なチーム医療を行うために、歯科医療上の種々の対人関係を理解するとともにコミュニケーションに必要な基本的知識、態度、技能を身につける。

## 行動目標：

1. 医療面接を行うのにふさわしい態度、マナーを示す。(A-7-1) -①, ②, ③)
2. 信頼関係を確立するためのコミュニケーションを実践する。(A-7-2) -①, ②)
3. 患者の病状や心理状態に配慮する。(A-7-2) -③, ④)
4. 必要な医療情報を患者から聞き取り、整理する。(A-4-②)
5. 検査内容・治療・予後を患者に分かりやすく説明する。(A-4-①) (E-4-1-④)
6. 治療の必要性と使用する装置を患者に分かりやすく説明できる。(E-4-1) -⑥, ②) -⑨)
7. 他科の医師・歯科医師へ医療情報提供や患者の診療を依頼する。(A-7-3) -①, ②)
8. 他科の医師・歯科医師からの依頼に応じて医療情報を提供する。(A-7-2) -⑧)
9. 他の医療機関に適切な紹介を行うための手続きを説明する。(A-7-2) -⑥)

## 学習方略：

示説、ロールプレイ、シミュレーション、グループ討論、全体討論

## 評価方法：

観察記録 (60%)、出席状況 (20%)、客観試験 (20%)

(単位数：0.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	11月26日	医療面接(1) OSCE課題 (1-1, 1-2)	医療面接に必要なコミュニケーション技法と病歴聴取の流れ (ロールプレイ)	廣安 一彦 二宮 一智 横須賀孝史 戸谷 収二 長谷川 優 佐藤 友則 高田 正典 両角 祐子 阿部 祐三 北澤 裕美 黒木 大雄 佐藤 英明 菅原 佳広 田中 聖至 秋山 麻美 丸山 浩晃 (佐々木善彦) (織田 隆昭)
2	12月3日	医療面接(2) OSCE課題 (1-1, 1-2)	慢性疾患初診患者に対する医療面接と診療録の記載 (ロールプレイ)	
3	12月10日	医療面接(3) OSCE課題 (1-1, 1-2)	急性疾患初診患者に対する医療面接と診療録の記載 (ロールプレイ)	
4	12月17日	エックス線撮影の 説明 OSCE課題(4-7)	患者へのエックス線撮影の説明 エックス線写真の取り扱いと読影 (ロールプレイ, シミュレーション)	
5	1月7日	チーム医療と医療 機関相互の連携 治療計画の説明 OSCE課題(4-3)	医師・歯科医師への患者医療情報の伝達患者への治療計画の 説明技工指示書・処方箋の作成 (ロールプレイ, シミュレーション)	
6	1月14日	保険装置の説明 矯正装置の説明 OSCE課題 (4-5, 4-6)	保護者への保険装置の説明 保護者への矯正装置の説明 (ロールプレイ, シミュレーション)	
7	1月21日	模擬患者実習 OSCE課題 (1-1, 1-2)	模擬患者への医療面接 (シミュレーション)	
8	1月28日	医療面接(4) OSCE課題 (1-1, 1-2)	客観試験 医療面接のまとめ	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 医療情報・医療管理学

授業責任者：藤井一維

教科書：歯科医療管理 医歯薬出版

## 一般目標：

医療機関の開設者または管理者となるために、医療システム、健康保険・介護福祉制度、医療経済・医療政策、危機管理（リスクマネジメント）の基本事項を理解する。

## 行動目標：

1. 診療に関する記録（診療録，処方せん，その他の指示書）を説明する。
2. 医療保険制度や医療経済および医療政策について説明する。（B-2-2）-②）
3. 医療チームのメンバーの役割と連携を説明する。（A-7-3）-①，②）
4. 保健・医療・福祉の連携を理解し，歯科医師の役割を説明する。（A-3-⑤，A-7-3）-③，B-2-2）-⑧～⑩）
5. 病診連携を念頭入れた診療情報の提供について説明する。（A-7-2）-⑥）
6. 歯科医療行為と歯科医師の責任について説明する。（A-5-1）-①～⑥）
7. リスクマネジメントについて説明する。（A-5-2）-①～④）
8. 医療従事者の健康と安全について説明する。（A-5-3）-①～⑤）
9. 医療法を概説する。（B-2-1）-②）
10. 歯科衛生士法と歯科技工士法を概説する。（B-2-1）-③）
11. 医師法，薬剤師法および保健師助産師看護師法を概説する。（B-2-1）-④）

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験（臨時試験）

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	11月27日	各種書類	診療録，処方せん等の記載内容およびその管理方法と診断書・死亡診断書の記載事項を説明する。	藤井 一維
2	12月 4日	関係法規	歯科技工士法，医療法の補足（医療法学の補足）	
3	12月11日	チーム医療(1)	医療チームのメンバーの役割と連携を説明する。	
4	12月18日	チーム医療(2)	保健・医療・福祉の連携を理解し，歯科医師の役割を説明する。	江面 晃
5	1月 8日	医療経済	医療保険制度や医療経済および医療政策について説明する。	藤井 一維
6	1月15日	診療情報	病診連携を念頭入れた診療情報の提供について説明する。	
7	1月22日	安全性の確保危機管理	事故防止に配慮した安全で信頼される医療を説明する。 リスクマネジメントについて説明する。 医療従事者の健康と安全を説明する。	
8	1月29日	臨時試験	客観試験	
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 歯科麻酔と救急処置

授業責任者：佐野公人

教科書：臨床歯科全身管理ハンドブック・東理十三雄 編・南江堂

参考書：臨床歯科局所麻酔・東理十三雄 著・永末書店

## 一般目標：

円滑な歯科診療を遂行するために必要となる精神鎮静法，全身麻酔法の学理と全身管理学の知識を習得する。

## 行動目標：

1. 精神鎮静法を説明する。(E-1-3) -(2)-①)
2. 吸入鎮静法の適応と禁忌を説明する。(E-1-3) -(2)-②)
3. 静脈内鎮静法を説明する。(E-1-3) -(2)-③)
4. 全身麻酔の目的を説明する。(E-1-3) -(4)-①)
5. 全身麻酔の適応と禁忌を説明する。(E-1-3) -(4)-②)
6. 全身麻酔法の種類と特徴を説明する。(E-1-3) -(4)-①)

## 学習方略：

講義，示説

## 評価方法：

客観試験80%，記述試験，出席状況

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月3日	精神鎮静法：総論，吸入鎮静法	精神鎮静法の内容，適応患者の選択，術前・術中管理，笑気の薬理，笑気吸入鎮静法の実際	大橋 誠
2	10月10日	静脈内鎮静法 (東京校交換授業)	静脈内鎮静法の適応患者，使用薬剤の種類・薬理，術前・術中管理，静脈内鎮静法の実際	山城三喜子 (生命歯学部)
3	10月17日	全身麻酔総論， 全身麻酔の種類	全身麻酔の理論と歴史，全身麻酔の種類と適応	佐野 公人
4	10月24日	全身麻酔に関する呼吸の生理	呼吸の構成要素，換気，酸塩基平衡	高橋 靖之
5	10月31日	全身麻酔に関する循環の生理	循環の構成要素，体液の循環，心電図	秋山 麻美
6	11月7日	術前検査と術前評価，注意すべき連用薬剤	術前検査，手術危険度の評価，麻酔法の決定，連用薬剤と麻酔薬の相互作用	大橋 誠
7	11月14日	麻酔前投薬：目的と薬剤，麻酔の導入方法	麻酔前投薬の目的，使用薬剤の種類，麻酔の導入方法の種類と選択，筋弛緩薬	秋山 麻美
8	11月21日	吸入麻酔薬	吸入麻酔薬の種類，薬理，吸入麻酔法の種類，人工呼吸	大橋 誠
9	11月28日	静脈麻酔薬，特殊な麻酔方法，NLA	静脈麻酔薬の種類，薬理，balanced anesthesia，NLA	高橋 靖之
10	12月5日	全身麻酔の偶発症(1) 呼吸系	低酸素血症，高炭酸血症，気道閉塞，喉頭痙攣，気管支痙攣，無気肺等	佐野 公人
11	12月12日	全身麻酔の偶発症(2) 循環系	血圧下降，血圧上昇，不整脈，ショック等	工藤 勝 (非常勤講師)
12	12月19日	術中管理(1)	患者監視と記録，呼吸管理，代謝管理	佐野 公人
13	1月16日	術中管理(2)	循環管理	高橋 靖之
14	1月23日	術中管理(3)	疼痛管理と麻薬	佐野 公人
15	1月30日	術後管理と総括	術直後の管理，病室・回復室への搬送基準，痛みの対策等，総括	佐野 公人
16				

# 口腔顎顔面外科手術学

授業責任者：山口 晃

教科書：標準口腔外科学 第3版・野間弘康, 瀬戸暎一 編集・医学書院

参考書：口腔外科学 第3版・白砂兼光 他編集・医歯薬出版

口腔顎顔面外科学 総論 第1版・道 健一 他編・医歯薬出版

口腔外科手術 全4巻・日本口腔外科学会 編・クインテッセンス出版

## 一般目標：

口腔顎顔面領域の疾患に対する手術法を理解し、安全かつ適正に行うために必要な基本的知識を習得する。

## 行動目標：

1. 切開法・縫合法・止血法を説明する。(E-1-4) -④, ⑤)
2. 抜歯の適応・禁忌ならびに基本手技を説明する。(E-1-4) -①, ③, ⑨)
3. 切開排膿術を説明する。(E-2-4) -(3)-⑨)
4. 嚢胞の治療法を説明する。(E-2-4) -(5)-④)
5. 補綴前処置としての手術を説明する。(E-1-4) -③)
6. 周術期の管理・評価法, 偶発症を説明する。(E-1-3) -(1)-⑥, E-1-4) -②)
7. 消毒・滅菌法を説明する。(E-1-4) -⑥, ⑦, ⑧)
8. 口唇・口蓋裂の治療法を説明する。(E-2-4) -(1)-②)
9. 顎骨骨折の治療法を説明する。(E-2-4) -(2)-①, ⑤, ⑥, ⑦)
10. 顎変形症の治療法を説明する。(E-2-4) -(1)-③)
11. 顎関節疾患の治療法を説明する。(E-2-4)-(6)-②)
12. 腫瘍の治療を説明する。(E-2-4) -(5)-⑦, ⑨, ⑩, ⑫, ⑬)
13. 歯の再植・移植および組織移植を説明する。(E-2-4) -(2)-④)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験, 論述試験, 出席状況, 受講態度

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	10月6日	外科的基本手技	切開法，縫合法，止血法の種類	山口 晃
2	10月15日	抜 歯	抜歯術，抜歯後の処置，偶発症の予防	
3	10月20日	炎症の治療	切開排膿術，腐骨除去手術，薬物療法	赤 柴 竜
4	10月27日	嚢胞の手術	根尖切除術，嚢胞摘出術，副腔形成，開窓法	佐藤英明
5	11月6日	補綴前処置としての手術	歯槽骨整形術，骨瘤除去術，歯槽堤形成術，口腔前庭拡張術，小帯切除術	山口 晃
6	11月10日	周術期管理	術前検査と評価，注意すべき基礎疾患，周術期管理の方法と評価	小根山隆浩
7	11月17日	滅菌・消毒	器具・器材の滅菌・消毒，手術野の消毒，手指消毒，院内感染防止対策	山口 晃
8	12月1日	口唇・口蓋裂の治療	口唇・口蓋裂の治療方針，口唇形成術，口蓋形成術，鼻咽腔閉鎖不全の処置	戸谷収二
9	12月8日	顎骨骨折の治療	骨折整復法・固定法の種類	山口 晃
10	12月15日	顎変形症の治療	顎変形症の治療方針，顎矯正手術の種類	水谷太尊
11	12月22日	顎関節の手術	顎関節脱臼の整復法，顎関節腔穿刺（パンピングマニピュレーション），顎関節鏡視下手術，顎関節授動術	山口 晃
12	1月9日	腫瘍の手術	良性腫瘍の術，悪性腫瘍の手術，顎骨切除術，頸部郭清術	田中 彰
13	1月19日	移植と再生医療	歯の再植・移植，皮膚移植，骨移植，仮骨延長術	山口 晃
14	1月26日	O-SASの治療	いびき症および睡眠時無呼吸症候群の診断と治療	河野正己
15				
16				

# 口腔外科学・全身管理学実習

授業責任者：水谷太尊・大橋 誠

教科書：実習用プリント冊子（新潟病院口腔外科編）  
症例から学ぶ歯科小手術プラクティス・又賀 泉他・クインテッセンス

参考書：標準口腔外科学 第3版・野間弘康他・医学書院  
歯科学生のための診査・検査学入門・鴨井久一他・永末書院  
歯科麻酔・全身管理学の手引き第3版・古屋英毅他編・学健書院

## 一般目標：

全身の健康の回復と増進のために、口腔顎顔面領域の疾患に対して口腔外科治療を行うのに必要な基本的な技能，知識，態度を習得する。

## 行動目標：

1. 口腔顎顔面外科手術に必要な器具器材を準備する。(E-1-4) -③)
2. 口腔顎顔面外科手術における基本的な切開と縫合を行う。(E-1-4) -④, ⑤)
3. 清潔域，不潔域の概念を持って行動する。(E-1-4) -⑦⑧)
4. 基本的な手洗いと手袋着用を行う。(E-1-4) -⑥)
5. 普通抜歯を行う。(E-1-4) -①, ⑦)
6. 下顎埋伏智歯の抜歯を行う。(E-1-4) -②, ⑨)
7. 骨膜下膿瘍の切開排膿を行う。(E-2-4) -(3)-①, ⑨)
8. 上顎臼歯部頬側の骨瘤除去術を行う。(E-1-4) -④, ⑤)
9. 上顎前歯歯根嚢胞に対する歯根尖切除術を行う。(E-2-4) -(5)-①, ④, E-3-3) -(2)-⑥)
10. 口腔顎顔面（口腔外）の視診，触診を実施し記録する。(E-1-1) -⑨)
11. 唾液分泌量の測定を行う。  
(E-2-2) -④, ⑤, E-2-3) -⑤, E-2-4) -(7)-⑤, E-2-4) -(10)-⑤)
12. 味覚検査を行う。(E-2-4) -(10)-④)
13. 心肺蘇生法を説明し，一次救命処置を行う。(E-1-5) -①～⑤)
14. 基本的手技に則った局所麻酔法を行う。(E-1-3) -(3)-①～⑥)
15. 医療事故防止の観念に基づいて安全に器具を取り扱う。(A-5-2) -①～③)
16. バイタルサインを理解し，脈拍，血圧，体温を測定する。(E-1-3) -(1)-①～⑤)
17. アレルギー検査を理解し，皮内反応テストを実施する。(C-5-4) -①)

## 学習方略：

シミュレーション実習，ロールプレイ

## 評価方法：

出席状況，観察記録，シミュレーションテスト，客観試験

(単位数：0.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月6日	切開縫合 OSCE課題(5-8)	手術器具器材の準備 切開と縫合法(双指法)・抜糸	水谷 太尊 田中 彰 廣安 一彦 戸谷 収二 高田 正典 小林英三郎 小根山隆浩 伊藤 秀俊 佐藤 英明 赤柴 竜 野田 直人 鈴木見奈子 上田 潤 中川 綾 川上未有希 二宮 一智 吉岡 裕雄 赤泊 圭太 小黒 英紀 皆澤 肇 桑原 徹 杉浦 宏樹 豊島紘一郎 佐藤 洋介 岡本 祐一 木村 勝年 大橋 誠 秋山 麻美 高橋 靖之 角川由香李 鶴谷 綾子 三瓶 伸也 鹿又 真一
2	10月15日	感染予防対策 OSCE課題(3-2)	清潔域の概念 手洗い手術グローブの着用	
3	10月20日	普通抜歯 OSCE課題(5-5)	術者の体位と患者の体位 普通抜歯の基本手技(挺子抜歯, 鉗子抜歯)	
4	10月27日	下顎埋伏智歯 抜歯	下顎粘膜下垂垂直埋伏智歯の抜去 下顎水平埋伏智歯の抜去	
5	11月6日	膿瘍切開 骨瘤除去術 歯根尖切除術	骨膜下膿瘍の切開排膿 上顎臼歯部頬側の骨瘤除去術 上顎前歯の歯根嚢胞に対する歯根尖切除術	
6	11月10日	口腔外診査 OSCE課題(2-3) 唾液検査・味覚 検査	顎顔面頸部の診査 唾液分泌量の測定 味覚検査	
7	11月17日	バイタルサイン の測定 OSCE課題(2-2)	バイタルサインの測定 体温, 血圧, 脈拍, 呼吸	
8	12月1日	心肺蘇生 OSCE課題(3-5)	JRC日本蘇生協議会のBLSヘルスケア・プロバイダーコースに準拠した救急蘇生法	
9	12月8日	局所麻酔 OSCE課題(3-1)	表面麻酔 浸潤麻酔 伝達麻酔	
10	12月15日	バイタルサインの測定 OSCE課題(2-2) 心肺蘇生 OSCE課題(3-5)	実技試験 客観試験	
11	12月22日	医科歯科連携	他科との連携・対診書の書き方 薬剤識別	
12	1月9日	切開縫合 OSCE課題(5-8) 口腔外診査 OSCE課題(2-3)	実技試験	
13	1月19日	普通抜歯 OSCE課題(5-5) 感染予防対策 OSCE課題(3-2)	実技試験 客観試験	
14	1月26日	静脈確保皮内反 応気管挿管 OSCE課題(3-5)	静脈確保・採血, 検査値の読み方 皮内反応 気管挿管	
15				
16				

# 歯内療法学実習

授業責任者：北島佳代子

教科書：実習用プリント冊子（新潟生命歯学部編）

参考書：歯内治療学第4版・中村 洋他編集・医歯薬出版

エンドドンティクス第3版・須田英明，中村 洋編集主幹・永末書店

## 一般目標：

歯を長期間保存し機能を営ませ、全身の健康の維持と増進を図るために、歯髄疾患や根尖歯周組織疾患に罹患した歯を健康状態に回復させるのに必要な歯内療法の知識、技能、態度を身につける。

## 行動目標：

1. 整理整頓された環境を維持する。
2. 実際の患者さんを想定して安全に処置を施す。
3. 清潔不潔の概念を持って制腐的処置を行う。(C-3-1) -③, E-3-3))
4. 各種歯内療法処置に必要な器材を準備する。(E-3-3)
5. ラバーダム防湿を行う。(E-1-4) -⑥, E-3-3), E-3-3) -(2)-①, ⑨)
6. 直接覆髄法を実施する。(E-3-3) -(1)-⑭)
7. 髄室開拓を行う。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
8. 生活歯髄切断法を実施する。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
9. 抜髄法を実施する。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
10. 作業長を決定する。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
11. 手用器具で根管の拡大形成を行う。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
12. ニッケルチタンロータリーファイルで拡大する。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
13. 根管洗浄に用いる機材を選択する。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
14. 根管洗浄操作を行う。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
15. 根管乾燥操作を行う。(E-3-3) -(2)-①, ⑨)
16. 細菌検査を実施する。(E-3-3) -(2)-①, ②, ⑨)
17. マスターポイントを試適する。(E-3-3) -(2)-①, ②, ⑨)
18. 根管充填法を実施する。(E-3-3) -(2)-①, ②, ⑨)
19. 根管充填材を除去する。(E-3-3) -(2)-①, ②, ⑤, ⑨)
20. 根尖切除，逆根管充填法を実施する。(E-3-3) -(2)-①, ②, ⑥, ⑨)

## 学習方略：

示説，シミュレーション実習

## 評価方法：

出席状況，観察記録，検印状況，シミュレーションテスト

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月2日	オリエンテーション、人工歯植立顎模型作製、ブローチ綿栓作製	実習課題、OSCE課題、器具の使用法、人工歯植立顎模型作製、デジタルエックス線撮影法、ブローチ綿栓作製	五十嵐 勝 北島佳代子 新井 恭子 横須賀孝史 佐藤 友則 横江 朋子 神谷 素代 鹿又 真一 後藤 正識 松田浩一郎 比澤 裕美 本間 裕章 田久昌次郎 石黒仁 and 子 大石 繁康 渡辺 学 北野 芳枝 上田 重 朝比奈壮郎 木村 正子 三好 敏朗 貝津 徹 井野場朗子 反町 香子 山田 理絵
2	10月9日	直接覆髄法、髓室開拓 OSCE課題(3-3)	ラバーダム防湿下におけるMTAを用いた直接覆髄法、髓室開拓(上顎前歯、上顎小白歯、下顎小白歯、上顎大白歯、下顎大白歯)	
3	10月16日	生活歯髄切断法 OSCE課題(3-3) 仮封セメント練和法	ラバーダム防湿下における水酸化カルシウムを用いた生活歯髄切断法、仮封セメント練和法	
4	10月23日	根管の拡大形成、根管充填法(単根管) OSCE課題(5-2)	髓室開拓、根管口明示、作業長の決定、根管の拡大形成、根管洗浄、側方加圧根管充填(透明レジン模型：単根管)	
5	11月4日	電気回路付帯顎模型作製	電気回路を付帯した顎模型作製(下顎前歯、下顎小白歯、下顎大白歯)、術前デジタルエックス線撮影	
6	11月13日	根管の拡大形成、根管充填法(複根管) OSCE課題(5-2)	髓室開拓、根管口明示、作業長の決定、根管の拡大形成、根管洗浄、側方加圧根管充填(透明レジン模型：複根管)	
7	11月20日	抜髄法、根管拡大形成、根管貼薬(大白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	電気回路付きスタンド植立歯の抜髄処置、電気的根管長測定とエックス線写真を併用した作業長決定、根管の拡大形成、根管洗浄、根管貼薬(Ca(OH) <sub>2</sub> )、仮封	
8	11月27日	根管充填法(大白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	電気回路付きスタンド植立歯の側方加圧根管充填	
9	12月4日	感染根管治療法、根管拡大形成、根管貼薬(小白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	マネキンを用いたラバーダム防湿下での歯髄壊死に対する感染根管処置、電気的根管長測定とエックス線写真を併用した作業長決定、根管の拡大形成、根管洗浄、根管貼薬(CP)、仮封	
10	12月11日	根管充填法(小白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	根管内細菌培養検査(プラディア培地)、マネキンを用いたラバーダム防湿下での側方加圧根管充	
11	12月18日	抜髄法、根管拡大形成、根管貼薬(大白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	マネキンを用いたラバーダム防湿下での抜髄処置、電気的根管長測定とエックス線写真を併用した作業長決定、根管の拡大形成、根管洗浄、根管貼薬(Ca(OH) <sub>2</sub> )、仮封	
12	1月8日	根管充填法(大白歯) OSCE課題(3-3),(5-2)	マネキンを用いたラバーダム防湿下での側方加圧根管充填	
13	1月15日	根管充填材の除去、外科的歯内治療法	根管充填材除去(ガッタパーチャ軟化溶解剤)、根尖切除、逆根管充填法	
14	1月22日	湾曲根管の拡大形成 OSCE課題(5-2)	ステンレススチール製手用ファイルによる湾曲根管の拡大形成、NiTiロータリーファイルによる湾曲根管の拡大形成	
15	1月29日	シミュレーション試験	ラバーダム防湿下での直接抜髄即時根管充填法(抜髄、根管長測定、根管の拡大形成、根管充填まで)	
16				

# 部分床義歯補綴学実習

授業責任者：小出 馨

教科書：部分床義歯補綴学実習書（歯科補綴学第1講座 編）

参考書：基本クラスデンチャーの設計・小出 馨 編・医歯薬出版

## 一般目標：

部分床義歯による機能回復と口腔組織の保全を図るために、部分床義歯の設計、製作に必要な基本的知識、技術および態度を習得する。

## 行動目標：

1. 部分床義歯治療に必要な器具、器材を準備する。(F-3-4)-(2)-⑩)
2. 模型上でキャストクラスプの設計とワックスアップを行う。(F-3-4)-(2)-③, ④, ⑥)
3. 診断用模型上で予備設計に必要なサベイング操作を行う。(F-3-4)-(2)-①, ②, ⑪)
4. 診断用模型上で色分け表示法により各種部分床義歯の予備設計を行う。(F-3-4)-(2)-②, ⑫)
5. 部分床義歯治療のためのマウスプレパレーションを行う。(F-3-4)-(2)-①, ④, ⑪)
6. 部分床義歯のための個人トレーの製作を行う。(F-3-4)-(2)-⑪)
7. 金属床義歯のメタルフレームのワックスアップを行う。(F-3-4)-(2)-⑪)
8. 模型を咬合器に装着し、人工歯の排列を行う。(F-3-4)-(2)-⑪)
9. 前方歯誘導型リングライズドオクルージョンを構成する。(F-3-4)-(2)-⑤, ⑩, ⑪)
10. 人工歯の削合調整を行う。(F-3-4)-(2)-⑤, ⑪)
11. 歯肉形成を行い研磨面形態を理解する。(F-3-4)-(2)-⑩, ⑪)
12. 実際の患者さんを想定して、部分床義歯による補綴治療のための処置を行う。(F-3-4)-(2)-②, ③, ⑫, ⑭)

## 学習方略：

示説，デモンストレーション，技工実習

## 評価方法：

製作物，進行状況，筆記試験，出席状況

(単位数：1.0)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月3日	概説	部分床義歯による治療の理論と設計および実際の製作手順	
2	10月10日	キャストクラスプの製作(1)	3倍大石膏模型上でのキャストクラスプの設計とマウスプレパレーション	
3	10月17日	キャストクラスプの製作(2)	3倍大石膏模型上でのキャストクラスプのワックスアップ	
4	10月24日	診断・設計	診断・設計模型（ペインティング模型）の製作	
5	10月31日	設計(1)	診断用模型（症例1：下顎 Kennedy I級）上でのサベイングと設計	
6	11月7日	設計(2)	診断用模型（症例2：上顎 Kennedy I級1類）上でのサベイングと設計	小出 馨 近藤 敦子
7	11月14日	設計(3)	診断用模型（症例3：下顎 Kennedy II級2類）上でのサベイングと設計	浅沼 直樹 佐藤 利英
8	11月21日	マウスプレパレーション	エポキシ模型上でのマウスプレパレーション，症例2の個人トレー製作前準備（ブロックアウト，リリース）	水橋 史 高橋 睦 菅原 佳広
9	11月28日	個人トレー製作	常温重合レジンによる個人トレーの製作	後藤 基誉 森田小野花 荒川いつか
10	12月5日	メタルフレームの製作	咬合器への模型装着，メタルフレームの製作，蝸提製作	宮本 重雄 石上也澄志 SARA SULTANA
11	12月12日	人工歯の排列	下顎臼歯部人工歯の排列	
12	12月19日	人工歯の排列と削合	人工歯の排列と削合（中心咬合位と偏心位における削合）	
13	1月16日	人工歯の削合と歯肉形成	咬合構成ならびに周囲組織と調和した床研磨面の形態付与	
14	1月23日	歯肉形成	審美的な歯肉形態の回復	
15	1月30日	完成・提出・筆記試験	製作物の完成と提出，筆記試験	
16				

# 歯冠補綴架工義歯学実習

授業責任者：黒川裕臣

教科書：歯冠補綴架工義歯学実習指針・日本歯科大学

参考書：ワクシングマニュアル・岩下博美・書林

## 一般目標：

口腔の機能回復と残存組織の保全を図るために、クラウン・ブリッジの支台歯形態と技工操作を理解し、支台歯形成後の印象採得から装着までの基本的知識、技能、態度を習得する。

## 行動目標：

1. 必要な器材を選択し準備する。(E-3-4) -(1)-⑥, ⑧, ⑨)
2. 整理整頓された環境を維持する。
3. 清潔不潔の概念を持って行う。
4. アルジネート印象材を手練和する。(E-3-4) -(1)-⑥, ⑦)
5. 概形印象, 精密印象を適切に採得する。(E-3-4) -(1)-⑥, ⑦, ⑨)
6. ダウエルピンを用いた歯型可撤式作業模型を製作する。(E-3-4) -(1)-⑦)
7. 蝟型形成をする。(E-3-4) -(1)-⑭)
8. 金銀パラジウム合金の歯科精密鑄造法を適切に行う。(E-3-4) -(1)-⑬, ⑭)
9. ろう付け法を適切に行う。(E-3-4) -(1)-⑭)
10. 硬質レジンによる前装を行う。(E-3-4) -(1)-⑬, ⑭)
11. 補綴物を研磨する。(E-3-4) -(1)-⑭)
12. 安全性に配慮した操作をする。

## 学習方略：

示説, シミュレーション実習, 技工実習

## 評価方法：

論述試験, 観察記録, シミュレーションテスト, 製作物, 出席状況

(単位数：1.0)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	10月7日	印象採得, 咬合採得	実習用顎模型前準備 対合歯の印象採得 付加型シリコーンゴム印象材による精密印象採得 シリコーンゴム印象材による咬合採得	赤川 将 飯島 浩 猪子 芳美 上田 一彦 江口 洋輔 小澤 誠 黒川 裕臣 杉山 貴彦 瀬戸 宗嗣 高桑 雅宣 高瀬 一郎 多和田泰之 中村 雅裕 村田 容子 渡邊 文彦
2	10月14日	前歯部ブリッジの製作(1)	超硬石膏にダウエルピンを用いた歯型可撤式作業模型製作	
3	10月21日	前歯部ブリッジの製作(2)	歯型の分割・トリミング, 咬合器への模型付着	
4	10月28日	前歯部ブリッジの製作(3)	咬合器の調整 ドロップオン法によるワックスアップの基本的操作(1)	
5	10月30日	前歯部ブリッジの製作(4)	ドロップオン法によるワックスアップの基本的操作(2)	
6	11月11日	前歯部ブリッジの製作(5)	ドロップオン法によるワックスアップの基本的操作(3)	
7	11月18日	前歯部ブリッジの製作(6)	ドロップオン法によるワックスアップの基本的操作(4)	
8	11月25日	前歯部ブリッジの製作(7)	ドロップオン法によるワックスアップの基本的操作(5), 蝸型の埋没	
9	12月2日	前歯部ブリッジの製作(8)	歯科精密鑄造法の基本的操作, 安全管理	
10	12月9日	前歯部ブリッジの製作(9)	ファントーム上での試適, ろう付けのためのコア採得	
11	12月16日	前歯部ブリッジの製作(10)	ろう付け, 金属研磨	
12	1月13日	前歯部ブリッジの製作(11)	メタルフレームの試適, 前装用光重合硬質レジンによる前装, 研磨	
13	1月20日	前歯部ブリッジの製作(12), 製作物提出	形態修正, 製作物の評価 (採点)	
14	1月27日	前歯部ブリッジの合着, 筆記試験	合着および筆記試験	
15				
16				

# 口腔顎顔面外科診断治療学

授業責任者：田中 彰

教科書：口腔顎顔面疾患カラーアトラス・道 健一監修，第1版・永末書店

参考書：歯科学生のための診査・検査学入門・鴨井久一編集・永末書店  
臨床検査法提要・金井正光編著・金原出版

## 一般目標：

口腔顎顔面領域における疾患に対応するために，診断技法の種類と特徴を理解し，口腔・顎顔面に生じる疾患の診断ならびに治療に必要な情報を統合し，これを結びつける基本的知識を習得する。

## 行動目標：

1. 診察，検査および診断技法を説明する。(E-1-1) -①, ②, ④, ⑧～⑪)
2. 検体検査法を分類しその特徴を説明する。(E-1-1) -⑮, ⑯, ⑰)
3. 咀嚼，嚥下，構音，唾液分泌機能，味覚などの生体機能を説明する。(E-2-1) -⑧, E-2-2) -④～⑦, E-2-4) (10)- ①～⑤)
4. アレルギーについて診断および治療方法を説明する。(E-2-4) -(3))
5. 院内感染の重要性とその対策法を説明する。(C-3-1) -⑥, E-2-4) -(9)-⑩)
6. 外傷時における救急救命を説明する。((E-1-5) -①, ②, ③, E-2-4) -(2)-①～⑦)
7. 病診連携の意義とその方法を説明する。(E-1-1) -⑯, ⑰)
8. 診断と治療のためのインフォームドコンセントについて説明する。(E-1-1) -⑭)

## 学習方略：

要点をまとめたプリント配布とスライドによる視覚教育を中心とした講義

## 評価方法：

論述試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月3日	口腔機能検査(1)	唾液腺機能低下の診断と治療	戸谷 収二
2	10月10日	特別講義(1) (アイヴィホール)	慢性腎不全と透析療法	鈴木 正司
3	10月17日	口腔機能検査(2)	口腔カンジダ症の診断と治療 血糖検査, カンジダ菌培養試験	二宮 一智
4	10月24日	診断のための臨床検査	全身生病態：内分泌障害, 代謝障害, ビタミン欠乏とその口腔症状	森 和久
5	10月31日	口腔機能検査(3)	咀嚼, 嚥下, 構音機能, 鼻咽腔閉鎖機能, 開口障害	戸谷 収二
6	11月7日	口腔顎顔面外科学の治療論(1)	外傷時における救急救命	高田 正典
7	11月14日	口腔顎顔面外科学の治療論(2)	診断から治療(治療学総論)	田中 彰
8	11月21日	特別講義(2) (アイヴィホール)	悪性腫瘍の診断と治療	藤内 祝
9	11月28日	口腔顎顔面外科学の治療論(3)	口腔癌の診断と治療(1) 外科的療法 頸部郭清, 口腔癌切除	田中 彰
10	12月5日	口腔顎顔面外科学の治療論(4)	口腔癌の診断と治療(2) 外科的療法 軟組織再建	
11	12月12日	口腔顎顔面外科学の治療論(5)	口腔癌の診断と治療(3) 外科的療法 顎骨再建	
12	12月19日	口腔顎顔面外科学の治療論(6)	口腔癌の診断と治療(4) 理学療法 放射線療治療, 副作用	
13	1月16日	口腔顎顔面外科学の治療論(7)	口腔癌の診断と治療(5) 化学療法	鈴木見奈子
14	1月23日	口腔顎顔面外科学の治療論(8)	口腔癌の診断と治療(6) 免疫療法, ターミナルケア, 処方箋	田中 彰
15	1月30日	口腔顎顔面外科学の治療論(9)	インフォームドコンセント, 患者への対応, 病診連携：他科対診, 偶発事故対策	
16				

# 障害者歯科学

授業責任者：島田路征

教科書：スペシャルニーズ デンティストリー 障害者歯科・日本障害者歯科学会編集・医歯薬出版株式会社

## 一般目標：

障害者の歯科治療を行うために必要な，障害者の身体的，精神のおよび心理的特徴と歯科治療上の留意点を理解する。

## 行動目標：

1. 障害の概念について説明する。
2. 障害者のおかれた社会環境を説明する。(B-2-2) -⑥)
3. ノーマライゼーションについて説明する。(B-2-2) -⑦)
4. バリアフリーについて説明する。
5. 国際生活機能分類 (ICF) および国際障害分類 (ICIDH) について説明する。
6. 障害者の身体的，精神のおよび心理的特徴を説明する。(E-4-4) -①)
7. 発達障害の概念と対応法を説明する。
8. 発達期の摂食嚥下障害について説明する。(E-2-4) -⑩-②)
9. 言語障害について説明する。(E-2-4) -⑩-③)
10. 障害者の非薬物的対応を説明する。(E-4-4) -②)
11. 障害者の薬物的対応を説明する。(E-4-4) -②)
12. 障害者の歯科治療の一般的注意事項を説明する。(E-4-4) -②)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，出席状況

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	11月25日	障害者概論	障害者の定義, 障害者の分類 (ICF, ICDH), ノーマライゼーションの概念, バリアフリーの概念, 障害者の歯科医療	島田 路征
2	12月2日	障害者各論(1)	脳性麻痺, 重症心身障害者, 進行性筋ジストロフィー	
3	12月9日	障害者各論(2)	精神発達遅滞, 自閉症スペクトラム障害, 学習障害, 注意欠陥多動性障害	
4	12月16日	障害者各論(3)	てんかん, 感覚障害, 音声言語障害, 摂食嚥下障害	
5	1月13日	障害者各論(4)	内部障害, 脳血管障害後遺症	佐野 公人
6	1月20日	障害者の特殊な対応(1)	障害者の薬物的対応	
7	1月27日	障害者の特殊な対応(2)	障害者の非薬物的対応, 一般的注意事項	島田 路征
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 歯性感染症

授業責任者：葛城啓彰

教科書：指定なし

参考書：口腔微生物学・—感染と免疫—（学建書院）

こうして無菌の根管を作った・福島久則編集・永末書店

歯学生のための病理学・口腔病理編・第2版・医歯薬出版

口腔病理アトラス・高木 實監修・文光堂

## 一般目標：

歯性感染症の原因と病態を理解し，EBMに基づいた対応ができる歯科医師になるため，関連する基礎的知識を習得する。

## 行動目標：

1. 歯性感染症の概要を局所から全身に渡って述べる。(E-2-4) -(3)-①, ⑧)
2. 齲蝕・歯髄炎の感染経路を説明する。(E-3-2) -①, ③) (E-3-3) -(2)-①～③)
3. 歯周疾患の感染経路を説明する。(E-3-3) -(3)-①, ②)
4. 菌血症および歯性病巣感染の病態を説明する。(E-2-4) -(3)-⑤)
5. 小児や高齢者の歯性感染症における特徴を説明する。(E-4-2) ①, ②, E-4-3) -①)
6. 歯性感染症の原因菌と歯性病巣感染を含めた感染経路を述べる。(E-2-4) -(3)-①)
7. 歯性感染症の生体反応について述べる。(C-4-4) -①～④)
8. 歯性感染症の予防と治療を説明する。(C-3-1) -④)

## 学習方略：

講義，TBL

## 評価方法：

論述試験，客観試験，出席状況，受講態度，レポート

(単位数：0.75)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	10月7日	歯性感染症	口腔内常在微生物叢の成立とバイオフィルム 歯性感染症の概要と全身に及ぼす影響	葛城 啓彰
2	10月14日	歯・歯髄・根尖 歯周組織の感染症	齲蝕，歯髄炎，根尖性歯周炎に関与する細菌の種類，感染経路，炎症の進行と继发疾患（症状，診断などの相互関連を含む）	五十嵐 勝
3	10月21日	歯周疾患と歯性 感染症	歯性感染症における歯周疾患の特徴と感染経路，歯性病巣感染，敗血症	両角 祐子
4	10月28日	小児・高齢者の 歯性感染症	齲蝕の原因菌の感染経路，小児・高齢者の特徴と歯性感染症およびその病態	田中 聖至
5	11月4日	歯性感染症にお ける生体反応	歯性感染症における生体の病態病理	岡田 康男
6	11月11日	歯性感染症と微 生物	症例から見る歯性感染症の原因と対策	葛城 啓彰
7	11月18日	試 験	論述もしくは客観試験	講義担当者
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 顎咬合診断・口腔インプラント学

授業責任者：渡邊文彦

教科書：よくわかる口腔インプラント学第2版・赤川安正，松浦正朗，矢谷博文，渡邊文彦編集  
医歯薬出版

参考書：ティッシュインテグレーション補綴法・Branemark / Zarb他・クインテッセンス出版  
オクルージョンの臨床・P.E.Dawson著・医歯薬出版  
臨床咬合学・福島俊士，平井敏博，古屋良一・医歯薬出版  
口腔インプラント治療指針・口腔インプラント学会編・医歯薬出版

## 一般目標：

一口腔単位の歯科治療を行うために，咬合の診査・診断および咬合治療を理解するとともに，口腔の欠損に対して歯科インプラントを用いての補綴治療法，インプラント材料，インプラントと生体反応，周囲組織のメカニズム，口腔解剖と治療法，インプラント治療評価の基本的な知識を習得する。

## 行動目標：

1. 咬合高径と咬合平面の関係を説明する。(E-2-2) -③)
2. 咬合様式を理解する。(E-2-2) -③)
3. ブラキシズムを説明する。(E-2-4) -(10)-①)
4. 咬合性外傷を説明する。(E-2-4) -(10)-①)
5. 天然歯の咬合調整について説明する。(E-2-4) -(10)-①)
6. 顎関節疾患の画像所見を説明する。(E-1-2-⑧)，(E-2-1) -⑤)
7. 口腔インプラント周囲組織について説明する。
8. 口腔インプラント治療の意義と特徴を説明する。(E-3-4) -(3)-①)
9. 包括的な歯科医学として口腔インプラントを説明する。(E-3-4-(3)-①)
10. 口腔インプラント材料と生体・正常組織の違いについて概説する。(E-1-②)
11. 口腔インプラントのための解剖学について概説する。(E-3-4) -(3)-③)
12. 口腔インプラント術後の周囲組織治療のメカニズムを概説する。(E-3-4) -(3)-②)
13. 口腔インプラントのための手術概論，適応症を概説する。(E-3-4) -(3)-④)
14. 口腔インプラント埋入外科術式を説明する。(E-3-4) -(3)-④)
15. 口腔インプラント治療時のトラブルと合併症またその対応について説明する。(E-3-4)-(3)-④)
16. 口腔インプラント治療の機能的修復術式を説明する。(E-3-4) -②)
17. 口腔インプラント治療後のリコール，メンテナンス，口腔インプラント体除去を説明する。  
(E-3-4) -(3)-④)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

客観試験，論述試験，出席状況

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月1日	咬合高径と咬合平面	咬合高径の再現，歯列と咬合	渡邊 文彦
2	10月8日	アンテリアガイダンス	上顎前歯に対する下顎前歯の動的関係と咬合様式	
3	10月22日	ブラキシズムと咬合性外傷	原因と治療方針	
4	10月29日	天然歯の咬合調整	咬合調整の意義，咬合調整の術式	
5	11月5日	顎関節の画像診査	顎関節疾患の画像所見	土持 眞
6	11月12日	口腔インプラント治療の特徴，意義	口腔インプラント治療の特徴，意義，治療法	渡邊 文彦
7	11月19日	口腔インプラントと生体材料	口腔インプラントの材料，表面性状と組織反応	宮川 行男
8	11月26日	口腔インプラント治療の臨床	患者さんから見たインプラント治療とゴール	榎本 紘昭
9	12月3日	口腔インプラント体骨界面の組織	インプラント体周囲の組織構造，生体の異物排除機構	吉江 紀夫
10	12月10日	インプラント体埋入部周囲の解剖	口腔インプラントのための解剖学	影山 幾男
11	12月17日	インプラント埋入手術と適応症	口腔インプラント埋入外科術式と適応症	廣安 一彦
12	1月7日	インプラント治療のトラブルと合併症	インプラント治療時のトラブルと合併症その対応	
13	1月14日	インプラント体埋入後の病理	口腔インプラントに必要な病理学（創傷治癒の仕組み）	岡田 康男
14	1月21日	口腔インプラント周囲組織	プラークコントロールとインプラント周囲炎	佐藤 聡
15	1月28日	インプラントを用いた補綴修復法とまとめ	インプラントを支台とした種々な修復法，適応症，メンテナンス	渡邊 文彦
16				

# 口腔インプラント学実習

授業責任者：渡邊文彦

教科書：口腔インプラント学実習書・公益社団法人 日本口腔インプラント学会教育委員会編・永末出版

参考書：よくわかる口腔インプラント学・赤川安正，松浦正朗，矢谷博文，渡邊文彦編集・医歯薬出版

一般目標：

口腔インプラントによる歯の欠損治療を行うために，治療に必要な知識，態度，技能を習得する。

行動目標：

1. 口腔インプラント治療について利点・欠点を説明する。(E-3-4) -(3)-①)
2. 口腔インプラント治療の診査，検査について説明する。(E-3-4) -(3)-③)
3. サージカルガイドプレートを作製する。(E-3-4) -(3)-③)
4. 口腔インプラント治療のためのX線診査・診断を行い，その結果について説明する。(E-3-4) -(3)-③)
5. 口腔インプラント治療計画を立て，その内容について説明する。(E-3-4) -(3)-③)
6. インプラント埋入術式を実施する。(E-3-4) -(3)-②)
7. インプラント二次手術を実施する。(E-3-4) -(3)-②)
8. インプラント支台の補綴修復を実施する。(E-3-4) -(3)-②)
9. 口腔インプラント治療，メンテナンスを実施する。(E-3-4) -(3)-④)
10. 口腔インプラント治療に関わる医療事故について説明する。(E-3-4) -(3)-④)

学習方略：

講義およびシミュレーション実習

評価方法：

実習態度，出席状況，筆記試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月1日	医療面接およびインプラント治療説明、スタデーモデルの製作と咬合器への模型の装着、診断用ワキシング	医療面接およびインプラント治療の概要および治療の流れについて説明、マネキンに上下顎模型を装着し、印象採得咬合採得後、スタデーモデルを咬合器に装着、スタデーモデル上での診査と診断用ワキシング	渡邊 文彦
2	10月8日	サージカルガイドプレートの製作	サージカルガイドプレートの製作	上田 一彦
3	10月15日	X線画像診査、診断とインプラント治療計画の立案・説明	サージカルガイドプレートを装着してのオルソパントモグラフィ、CT画像よりインプラント埋入部位の診査、診断とインプラント埋入手術、上部構造の設計に関するインプラント治療計画の立案・説明	廣安 一彦 小林英三郎
4	10月22日	インプラント埋入手術	顎模型を用いての埋入手術	
5	10月29日	インプラント二次手術と印象採得	インプラント二次手術、印象採得と作業模型の製作	廣安 一彦 上田 一彦
6	11月5日	暫間被覆冠の製作	作業模型による暫間被覆冠の製作	上田 一彦
7	11月12日	インプラント周囲のメンテナンス	インプラント周囲のプラークコントロール	佐藤 聡
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				

# 歯科医のための内科学

授業責任者：大越章吾

教科書：歯科のための内科学・井田和徳など編集・南江堂

## 一般目標：

内科学総論の知識を基本として歯学を修めるために、必要と考えられる内科的疾患についての知識を系統的に習得する。

## 行動目標：

1. 日常経験する代表的な内科的疾患についての病態と症状や検査成績などから、診断から治療までの一連の内科知識を説明する。(E-4-6)
2. 生活習慣病としての高血圧症・糖尿病・肥満症・脳血管障害や血液疾患などの治療法，歯科治療時の問題点とその対処について説明する。(E-4-6)
3. 内科的合併症を有する患者に歯科治療を行う際に必要な内科的知識を説明する。(E-4-6)

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

論述試験・客観試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学 習 内 容	担当者
1	10月6日	消化器疾患(1)	上部消化管疾患	大越 章吾
2	10月15日	消化器疾患(2)	下部消化管疾患	
3	10月20日	消化器疾患(3)	肝炎ウイルス，慢性肝炎から肝硬変(1)	
4	10月27日	消化器疾患(4)	肝硬変(2)，肝細胞癌，薬剤性肝障害	
5	11月6日	代謝性疾患(1)	糖尿病，痛風	
6	11月10日	代謝性疾患(2)	高脂血症，メタボリック症候群，肥満	
7	11月17日	血液疾患(1)	総論，貧血	
8	12月1日	血液疾患(2)	出血傾向を示す疾患	
9	12月8日	内分泌疾患・感染症	総論，甲状腺疾患，副腎疾患，各種感染症	
10	12月15日	神経疾患(1)	総論，脳血管障害	
11	12月22日	神経疾患(2)	認知症	
12	1月9日	生体検査	各疾患の生体検査	
13	1月19日	高齢者と内科疾患(1)	高齢者における内科疾患の特徴(1)	
14	1月26日	高齢者と内科疾患(2)	高齢者における内科疾患の特徴(2)	
15				
16				

# 外 科 学

授業責任者：須田武保

教科書：外科学 第2版・加藤繁次 監修 鈴木時雄・吉野肇一 編集・医学書院

参考書：標準外科学 第13版・加藤治文 監修 畠山勝義，北野正剛，若林 剛 編集・医学書院

## 一般目標：

外科医療を円滑に遂行するために、病態生理から見た全身管理の基本を理解するとともに、外科的疾患を歯科医師として必要な全身的視野で把握するために、各臓器ごとに主要な外科的疾患の病態、診断、治療の最新の動向を理解する。

## 行動目標：

1. 外科医療に関わる医の倫理綱領を説明する。(A-2-①, ②)
2. 手術用器具・器械と外科的基本手技を説明する。(E-1-4) -⑤)
3. 侵襲と生体反応について基本概念を説明する。(A-5-3) -②-③)
4. 外科的感染症の病態と治療および院内感染の予防対策の原理を説明する。(A-5-3) -②, ③)
5. ショックの病態と治療の原則を説明する。(E-1-5) -③)
6. 外科的疾患における体液異常と輸液管理の原則を説明する。
7. 良性腫瘍と悪性腫瘍の違いを説明する。(C-4-5) -①, ②, ⑤)
8. 癌の病態と治療の原則を説明する。(C-4-5) -⑥)
9. 外科的疾患での栄養管理の重要性と各種栄養法の概略を説明する。
10. 各消化管の位置を図示し、それらの機能を説明する。(C-2-1) -①, ②)
11. 重要臓器の機能障害の症状とその評価法を説明する。
12. 主要臓器の代表的外科疾患、特に癌について、臨床的特徴ならびに診断・治療法の要点を説明する。(C-4-5) -⑥)
13. ヘルニアの概念と好発部位を説明する。(C-2-4)
14. 内視鏡外科手術の適応と評価を説明する。

## 学習方略：

講義

## 評価方法：

ミニテスト，記述試験

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月7日	外科における倫理と感染対策	国際医の倫理基準(1983年修正)とIC. 現在の滅菌・消毒法, 外科的感染症の診断と治療, 耐性菌対策, 院内感染対策	須田 武保
2	10月14日	外科基本手技	手術用器具・器械, 基本的手術手技および基本的な外科処置	
3	10月21日	体液・輸液と栄養法	外科的疾患と体液異常, 維持・補充輸液の原則 各種外科的栄養法の適応と実際	
4	10月28日	腫瘍学(1)	腫瘍の分類と病理学的・生物学的特徴, 癌と宿主の関係	
5	11月4日	腫瘍学(2)	癌治療の原則, 抗癌剤・放射線療法の適応と副作用, 効果判定(PSの概念)	
6	11月11日	ショックの病態と救急処置	ショックの原因・診断・治療, 救命救急処置, 心肺蘇生法, 気道・静脈確保	若井 淳宏
7	11月18日	損傷と創傷治癒と腹部外傷	損傷の概念, 機械的・物理的損傷, 創傷治癒のメカニズム, 腹痛・腹部外傷の病態と画像診断, 緊急開腹術の適応と非開腹例の治療方針	細井 愛
8	11月25日	外科とリスクマネジメント	医療安全対策の基本概念, 医療事故と医療過誤の違い, 事故発生時の対応	須田 武保
9	12月2日	食道・胃・十二指腸	食道の解剖と食道の良性疾患, 食道癌の診断と治療, 胃の生理機能と胃癌の診断と治療, 胃切除術と胃切除後合併症	若井 淳宏
10	12月9日	小腸・大腸	小腸・大腸の良性疾患, 悪性疾患, 炎症性腸疾患の診断と治療	須田 武保
11	12月16日	肝・胆道・膵	肝切除と肝再生, 肝・胆道・膵疾患の外科的適応 胆石症, 肝癌, 胆道癌, 膵癌の外科治療	若井 淳宏
12	1月13日	内視鏡外科	消化器外科における内視鏡下手術の適応と評価 手術の実際	須田 武保
13	1月20日	ヘルニア, イレウス	ヘルニアの定義, 一般外科における代表的ヘルニアの治療, イレウスの病態・診断と治療	細井 愛
14	1月27日	小児外科	小児の特殊性, 外科治療の対象となる先天異常, 主な小児癌の治療	須田 武保
16				

# 耳鼻咽喉科学

授業責任者：五十嵐文雄

教科書：歯科医のための耳鼻咽喉科学・毛利 学 他・医歯薬出版株式会社

参考書：新耳鼻咽喉科学・野村恭也，加我君孝・南山堂

## 一般目標：

歯科医師として境界領域の疾患についての知識を深めるために、耳鼻咽喉科の代表的疾患について学び、歯科疾患との関連性を理解し、説明する能力を身につける。

## 行動目標：

1. 耳鼻咽喉科領域の臨床解剖，生理について説明する。  
(C-2-3) -(4)①～④，C-2-3) -(6)①，C-2-3) -(7)①)
2. 耳鼻咽喉科領域の臨床解剖を図示する。  
(C-2-3) -(4)①～④，C-2-3) -(6)①，C-2-3) -(7)①)
3. 耳鼻咽喉科領域，特に口腔，咽頭の疾患について説明する。  
(E-2-4) -(10) ②～⑤)，E-4-6) ①～⑤)
4. 口腔，咽頭疾患の局所所見を図示する。(E-4-6) ①～⑤)
5. 同領域に生ずる歯原性疾患について病因，病態，治療法を説明する。  
(E-2-4) -(4)①～②，E-2-4) -(5)①～⑬)

## 学習方略：

講義，示説

## 評価方法：

記述試験

(単位数：1.5)

回	実施月日	授業項目	学習内容	担当者
1	10月1日	耳の解剖	外耳，中耳，内耳の解剖の理解	五十嵐文雄
2	10月8日	耳の機能	外耳，中耳，内耳の正常機能の理解	
3	10月22日	耳の検査	中耳機能検査，聴覚検査，平衡機能検査の理解	
4	10月29日	外耳，中耳疾患	外耳，中耳疾患の病因，病態，治療法の理解	
5	11月5日	内耳，後迷路疾患	内耳，後迷路疾患の病因，病態，治療法の理解	
6	11月12日	鼻副鼻腔の解剖，生理，検査	鼻副鼻腔の解剖と生理の理解，嗅覚検査，鼻腔通気度検査の理解	
7	11月19日	鼻副鼻腔疾患	鼻副鼻腔疾患の病因，病態，治療法の理解	
8	11月26日	口腔・咽頭の解剖，生理	口腔・咽頭の解剖と生理の理解	
9	12月3日	口腔・咽頭疾患(1)	口腔・咽頭疾患の病因，病態，治療法の理解 (主に口腔疾患)	
10	12月10日	口腔・咽頭疾患(2)	口腔・咽頭疾患の病因，病態，治療法の理解 (主に咽頭疾患)	
11	12月17日	大唾液腺疾患	大唾液腺疾患の病因，病態，治療法の理解	
12	1月7日	喉頭の解剖，生理と疾患	喉頭の解剖，生理と同領域疾患の病因，病態，治療法の理解	
13	1月14日	気管・食道，頸部疾患	気管・食道疾患，頸部腫瘤をきたす疾患の病因，病態，治療法の理解	
14	1月21日	音声言語科学	音声言語科学の概略と音声言語障害の理解	
15	1月28日	全体のまとめ	講義全体のまとめ	
16				